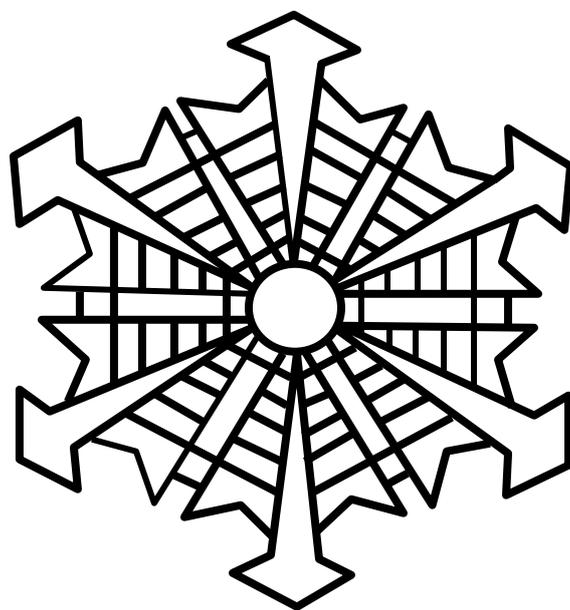


消 防 年 報

平成25年（2013年）版



宇部・山陽小野田消防局

平成26年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防局の消防現勢及び平成25年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは、平成26年4月1日、火災・救急・救助等に関するものは平成25年12月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき宇部・山陽小野田消防局についてご理解いただければ幸いです。

平成26年6月

宇部・山陽小野田消防局

目次

管内概況

1 構成市の概要	3
（1）宇部市の概要	3
（2）山陽小野田市の概要	3
2 構成市の位置図	4
3 消防の沿革	5
（1）宇部市消防の沿革	5
（2）小野田市消防の沿革	8
（3）山陽町消防の沿革	10
（4）山陽小野田市消防の沿革	11
（5）宇部・山陽小野田消防組合の沿革	12
4 過去の主な災害等	14
（1）宇部・山陽小野田地区における自然災害	14
（2）宇部市の主な火災記録	15
（3）旧小野田市の主な火災記録	15
（4）旧山陽町の主な火災記録	16
（5）山陽小野田市の主な火災記録	16
5 応援協定等締結状況	17

総務

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	21
2 消防局・消防署職員配置表	23
3 消防職員階級別勤続年数	26
4 消防職員階級別年齢	27
5 特殊技能・技術資格者	28
6 消防予算	29
7 特殊勤務手当	30
8 消防庁舎	31

予防

1 防火対象物	35
（1）棟数及び立入検査	35
（2）防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	36
2 建築確認同意処理件数	37
3 防火管理者選任状況	38
4 危険物施設設置状況	39
5 危険物許認可状況	40
6 危険物施設の現況及び立入検査状況	41
7 宇部・小野田地区特別防災区域	42
（1）宇部市	42

(2) 山陽小野田市	43
8 消防協力団体の現況	45

警 防

1 消防配置図	49
2 消防車両	50
3 消防水利	54
(1) 消火栓	54
(2) 防火水槽	54
(3) その他	54
4 化学消火剤備蓄状況	54
5 火災	55
(1) 月別火災発生状況	55
(2) 火災種別ごとの件数	56
(3) 火災種別ごとの焼損面積	56
(4) 火災種別ごとの損害額	57
(5) 火災種別ごとの死者及び負傷者	57
(6) 曜日別火災発生状況	58
(7) 時間帯別火災発生状況	59
(8) 過去5年間の火災発生状況	60
(9) 過去5年間の火災種別件数	61
(10) 過去5年間の火災原因別件数	62
(11) 過去5年間の焼損程度別件数	63
6 救急	64
(1) 過去5年間の救急状況	64
(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	65
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	66
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び搬送人員	67
(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	68
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	69
(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	70
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	71
7 救助	72
8 火災以外の出動	73
9 救急講習	74

情報指令

1 消防通信施設	77
(1) 消防指令センター	77
(2) 電話回線	77
(3) システム構成図	78
(4) 自家用発電機	79
(5) 無線局	80

(6) 統計	81
ア 119回線着信件数～固定（IP含む）・携帯	81
イ 病院紹介件数	82

消 防 団

1 消防団組織図	85
(1) 宇部市消防団	85
(2) 山陽小野田市消防団	86
2 消防団配置図	87
(1) 宇部市消防団配置図	87
(2) 山陽小野田市消防団配置図	88
3 消防団員階級別年齢	89
4 消防団員階級別勤続年数	90
5 消防団員年報酬及び費用弁償	91
6 消防団災害出動状況	92
7 消防団車両及び機械器具	93
(1) 配備及び管理状況	93
(2) 消防ポンプ自動車	95
(3) 小型動力ポンプ積載車	96
(4) 小型動力ポンプ	97
(5) その他の車両	98
8 消防団機庫	99

管内概況



UBEビエンナーレ

ビエンナーレとは2年に一度開かれる美術展覧会のこと、1961年(昭和36年)から始まったUBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)は2011年秋に開催した第24回をもって50周年を迎えました。(宇部市)

竜王山

頂上の展望台は360度のパノラマが楽しめ、「せとうち夢海道50景」にも選ばれています。春には、1万本の桜が咲き誇り、初夏にはヒメボタルが幻想的に輝きます。(山陽小野田市)



一目でわかる消防統計

平成26年4月1日現在

管内概要 (P1~17)



管轄面積
420.70km²



構成市
宇部市
山陽小野田市



人口と世帯数
人口 235,978人
世帯数 107,012世帯

総務関係 (P19~32)



職員数
定員 298人
実員 298人



常備消防費予算
2,993,636千円



署所
消防署 4署
出張所 4所

予防関係 (P33~46)



防火対象物
9,451施設



危険物施設
1,579施設



防火クラブ
幼年消防クラブ 17
少年消防クラブ 8
婦人防火クラブ 2

警防関係 (P47~54)



消防車
ポンプ車等 31台
その他車両 31台



救急車
高規格救急自動車 11台



消防水利
消火栓 3,540基
防火水槽 370基

火災等統計関係 (P55~74)



火災件数
火災件数 86件
死者 4人
負傷者 13人



救急出動
出動件数 10,249件
搬送人員 8,649人



救助出動
出動件数 131件
救助人員 92人

消防団関係 (P83~101)



宇部市消防団
分団数 15分団
団員数 651人



山陽小野田市消防団
分団数 13分団
団員数 422人

管内概況

1 構成市の概要

(1) 宇部市の概要



宇部市は、本州西端の山口県の南西部に位置し、西は山陽小野田市、東は山口市、北は美祢市に接し、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は山陽本線及び宇部線が東西に走り、高速道路は山陽自動車道が市の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港があり、山口宇部空港も市街地に近い位置にあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、温暖で、雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候で、市中央部以北の丘陵地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。また、南は海に面していることから、山と海の幸にも恵まれています。市街地には真締川や厚東川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

今日の宇部市発展の礎は、明治期以降の石炭産業の振興により築られました。

その後、我が国のエネルギーの需要構造の転換にいち早く対応し、近代的な工業都市へと変ぼうを遂げ、現在も瀬戸内有数の臨海工業地帯を形成しています。

この間、急激な工業化の進展に伴い生じた、ばいじん降下による大気汚染などの公害問題に対し、産官学民一体となった「宇部方式」による公害対策に取り組み、この環境改善を図った実績は、産業発展と市民福祉の調和を目指す先進的事例として広く知られるところとなり、平成9年(1997年)、国連環境計画(UNEP)から「グローバル500賞」を受賞し、これまでの環境の保護・改善への功績が高く評価されています。

(2) 山陽小野田市の概要



山陽小野田市は、山口県の南西部に位置し、東は宇部市、西は下関市、北は美祢市に接し、南は瀬戸内海に面しています。

市中央部から南部の丘陵地や干拓地を中心に発達した市街地を取り囲むように里山、河川、海などの豊かな自然のほか、森と湖に恵まれた公園や海や緑に囲まれたレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。

気候は、年間を通じて温暖で、降水量の少ない典型的な瀬戸内型気候を示し、生活環境としても産業立地上も好条件を備えています。また、市内には山陽自動車道、JR山陽新幹線厚狭駅があり、隣の宇部市には山口宇部空港があるなど、高速交通網の利便性にも富んでいます。

古くから山陽道や山陰と山陽を結ぶ交通要衝の地として栄え、古墳時代から当地を治めていた豪族がいたことを示す古墳群が分布しています。中世から近世初頭に「信濃の国から長門の国に住み着いて厚狭川に大きな堰を造って、荒地であった千町ヶ原に水路を引き、美田をつくった」という大工事がなされていますが、公的な記録には、いつ誰によって築かれたのか、発見されておらず、ここから「厚狭の寝太郎」伝説が誕生したと言われています。

江戸時代には石炭産業が盛んになり、明治期以降、日本初の民間セメント会社が創立されるなど、窯業・化学工業を中心に工業の街として発展してきました。この窯業の歴史を踏まえて、平成15年(2003年)、きららビーチ焼野にガラス工房がオープンし、全国レベルの現代ガラス展なども開催されています。

2 構成市の位置図



	人口(人)	世帯数	面積(km ²)	市の木	市の花
宇 部 市	171,220	78,553	287.71	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	64,758	28,459	132.99	クロガネモチ	ツツジ
計	235,978	107,012	420.70	—	—

平成26年4月1日現在

3 消防の沿革

(1) 宇部市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1921年 大正10年 1月 1日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を4部に分け、各部32人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931年 昭和 6年	藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939年 昭和14年 4月 1日	消防組を警防団に改名し、市域を11分団、各250人程度に編成
1941年 昭和16年	厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943年 昭和18年	西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944年 昭和19年 3月 24日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第137号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947年 昭和22年 9月	終戦による警防団の解散に伴い、新たに11分団定員419人の消防団が結成
1947年 昭和22年 12月 23日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948年 昭和23年 3月 7日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948年 昭和23年 7月 24日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950年 昭和25年 9月 16日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954年 昭和29年 10月 1日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の4村が合併
1956年 昭和31年 11月	消防団の機構改革を行い、11個分団、600人に統合
1960年 昭和35年 9月 1日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転

(西暦) 年 月 日	沿 革
1963年 昭和38年 9月10日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車1台を配備して、救急隊を編成
1970年 昭和45年 11月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1977年 昭和52年 4月 1日	阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977年 昭和52年 4月 1日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978年 昭和53年 4月18日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を97人に増員
1980年 昭和55年 4月 1日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を124人に増員
1982年 昭和57年 12月 6日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988年 昭和63年 3月31日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989年 平成 元年 1月19日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990年 平成 2年 11月30日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991年 平成 3年 8月 7日	救急救命士養成のため、救急救命中央研修所に職員を派遣
1992年 平成 4年 11月 6日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995年 平成 7年 4月 1日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を161人に増員
1995年 平成 7年 8月 1日	宇部地区地震連絡協議会を設立(同年7月31日)し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1996年 平成 8年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を164人に増員
1996年 平成 8年 10月 1日	宇部市消防職員委員会設置
1997年 平成 9年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を170人に増員
1998年 平成 10年 4月 1日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を176人に増員
1999年 平成 11年 10月 1日	消防緊急通信指令施設更新

(西暦) 年 月 日	沿 革
2000年 平成12年 4月 1日	消防の充実拡充強化を図るため、職員定数を184人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000年 平成12年10月 1日	阿知須町から同町の消防業務を受託し、業務開始
2002年 平成14年 4月 1日	中央消防署に救助係を設置
2002年 平成14年10月16日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を、阿知須町きらら浜で実施
2003年 平成15年 8月 1日	救命率向上を図るため、山口大学医学部付属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称:ドクターカー）運用開始
2004年 平成16年11月 1日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1本部、2消防署、3出張所、職員定数を194人とした。 また宇部市消防団の定数を宇部消防団560人、楠消防団180人とした。
2007年 平成19年 3月 1日	高規格救急自動車1台を導入し、保有する7台全ての救急車の高規格化が完了
2007年 平成19年 4月 1日	宇部消防団に方面隊を組織し、定数520人に変更
2008年 平成20年 5月30日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2009年 平成21年10月31日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011年 平成23年 3月14日	緊急消防援助隊（車両4台、13人）を東日本大震災の被災地へ派遣

(2) 小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1898年 明治31年 2月	須恵村に公設消防組を設置
1908年 明治41年 9月	高千帆村に公設消防組を設置
1939年 昭和14年 4月15日	小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名
1940年 昭和15年11月 3日	小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編
1947年 昭和22年 6月27日	小野田市消防団を結成し、団本部と8個分団を編成、450人の組織を設置
1948年 昭和23年12月 1日	市役所社会課内に小野田市消防本部を設置
1949年 昭和24年 5月 1日	小野田市大字小野田5993番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下5人で、消防業務を開始
1950年 昭和25年 4月 1日	小野田市消防団員の定員を450人から275人に改正
1951年 昭和26年 1月18日	消防団第2分団の水上部を独立させ、水上分団を設置
1951年 昭和26年 8月 3日	市長、消防長、団長、市議会議員4人、一般有識者10人により消防委員会を設置
1955年 昭和30年 5月30日	高松宮殿下を迎え、消防自動車80台、消防職団員3,000人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行
1963年 昭和38年 3月 9日	小野田市大字小野田5896番地の1に消防本部・署庁舎を新築移転
1963年 昭和38年 4月 1日	小野田市危険物安全協会を設立(10事業所)
1964年 昭和39年12月11日	非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局(10W 1基) ・陸上移動局(10W 3基) ・携帯陸上移動局(1W 2基)
1965年 昭和40年10月 1日	救急業務を開始
1970年 昭和45年12月 1日	小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立(34事業所)
1977年 昭和52年10月17日	大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置 仮眠室及び車庫を増築
1978年 昭和53年12月 5日	一斉指令装置を設置

(西暦) 年 月 日	沿 革
1981年 昭和56年 1月 6日	ホース乾燥塔、テレビ監視装置設置、庁舎増築
1983年 昭和58年 7月 1日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985年 昭和60年 6月 1日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後6保育園がクラブを結成
1985年 昭和60年 7月19日	刈屋婦人防火クラブを結成
1985年 昭和60年 9月 1日	小野田市防火委員会を結成
1987年 昭和62年11月11日	全国消防長会危険物委員会を開催
1990年 平成 2年 5月23日	山口県消防大会を開催
1992年 平成 4年 4月 1日	女性消防団員10人を採用
1993年 平成 5年 4月 1日	消防職員定数を54人から57人に増員
1995年 平成 7年 9月 1日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995年 平成 7年10月24日	山口県幼年消防大会を開催
1996年 平成 8年 4月 1日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997年 平成 9年 3月26日	耐震性貯水槽(100t)新設、以後市街地に9基設置
1999年 平成11年 3月25日	消防緊急通信指令施設(I型)が完成
1999年 平成11年 4月 1日	小野田市高栄一丁目6番1号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始(本庁舎:鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建)
1999年 平成11年 7月 1日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000年 平成12年 1月20日	消防訓練塔完成(主塔:H=17.5m、補助塔:3階建)
2000年 平成12年 3月29日	化学消火薬剤備蓄タンク(20k1)及び消火薬剤倉庫が完成
2000年 平成12年 6月 8日	山口県危険物安全大会を開催
2002年 平成14年 3月27日	小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002年 平成14年10月17日	全国消防長会予防委員会を開催
2005年 平成17年 3月21日	小野田市消防委員会を廃止

(3) 山陽町消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1948年 昭和23年 8月	厚狭町消防本部を設置
1956年 昭和31年 9月	厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963年 昭和38年 1月	山陽町危険物安全協会を設立
1971年 昭和46年 4月	楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973年 昭和48年 6月	山陽地区消防組合を設立(許可番号:指令地方第327号) 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974年 昭和49年10月	楠出張所開設、職員6人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台配備し業務開始。埴生出張所(旧埴生消防事務室)も職員5人で開設し、消防団消防ポンプ自動車を管理
1974年 昭和49年12月	山陽署車庫を増築
1981年 昭和56年 4月	埴生出張所完成、職員7人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台を配備
1984年 昭和59年 2月	山陽署車庫を増築
1993年 平成5年 3月	消防緊急通信指令施設(I型)を設置
1993年 平成5年 7月	消防組合発足20周年記念式典を開催
1994年 平成6年 3月	消防用無線中継局を松嶽山に開局
1994年 平成6年11月	山陽署事務室等増築
2000年 平成12年 8月	山口県総合防災訓練を実施
2002年 平成14年 4月	高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003年 平成15年 6月	山口県危険物安全大会を開催
2004年 平成16年 4月	職員8人を(内3人救急救命士)採用し実員64人に増員
2004年 平成16年 5月	山口県消防大会を開催
2004年 平成16年10月31日	組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004年 平成16年11月 1日	山陽町消防本部を設立 1本部1署1出張所、消防職員54人で業務開始

(4) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2005年 平成17年 3月22日	小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目6番1号）が発足、1本部2署1出張所、条例定数110人の消防職員による消防体制で消防業務を開始 一方、非常備消防も2市町の消防団が統合し、1団本部、22分団、条例定数503人による消防団組織を編成
2005年 平成17年 9月17日	山口県消防操法大会応急小型ポンプの部において埴生連合分団が初優勝及び応急自動車ポンプの部において高千帆分団が準優勝
2006年 平成18年 3月20日	消防緊急通信指令システム（I型）を更新
2006年 平成18年 5月28日	消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、本市引受けによるちびっ子防火フェアを開催
2006年 平成18年10月 1日	女性消防団員を6人新たに採用、女性消防団員16人
2007年 平成19年 4月 1日	山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の22個分団を13個分団に再編し、消防団員定数も503人から485人に改正、業務開始
2007年 平成19年 4月12日	出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2007年 平成19年 9月15日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において厚狭北分団が優勝
2008年 平成20年 3月18日	厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2011年 平成23年 3月14日	緊急消防援助隊（車両2台、5人）を東日本大震災の被災地へ派遣

(5) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008年 平成20年 5月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律(平成18年法律第64号)及び市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成18年7月12日消防庁告示第33号)を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009年 平成21年11月20日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009年 平成21年11月20日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 2月13日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 5月20日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 8月11日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年10月15日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年11月15日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011年 平成23年 1月 4日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附帯する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011年 平成23年 2月16日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 3月29日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 5月31日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 6月29日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 7月20日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 8月 1日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	第7回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011年 平成23年 11月30日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成18年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で7番目、県内では初の取り組み）
2012年 平成24年 2月20日	第1回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012年 平成24年 3月30日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012年 平成24年 4月 1日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1本部4署4出張所 定員298人で消防業務を開始
2013年 平成25年 3月28日	山陽小野田市大字厚狭487番地9へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙行
2014年 平成26年 3月 2日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始

4 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年月日	内容	被害概要	
		宇部市	山陽小野田市
S17年 8月27日	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者232人、行方不明65人、負傷者118人、家屋全壊71戸、家屋流出472戸、家屋半壊643戸、浸水5,082戸	(小野田市)死者141人、行方不明3人、負傷者27人、家屋全壊195戸、家屋流出96戸、家屋半壊985戸、床上浸水509戸、船舶流失350艘
S28年 6月25日 ～6月29日	九州山口を豪雨が襲い、約5日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者1人、家屋全半壊29戸、浸水3,707戸、真締川堤防3か所決壊、13鉱完全水没、	(小野田市)死者2人、重傷者1人、家屋全半壊44戸、家屋流出1戸、床上浸水179戸、道路決壊30ヶ所、橋梁流出4箇所(山陽町)厚狭川決壊、死者6人、負傷者5人、家屋全半壊19戸、床上浸水1,503戸
H3年 9月27日	台風第19号は、中心気圧945hpa、最大風速45m/sの大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者1人(太陽熱温水器落下による)、重傷者3人、軽傷者8人、家屋半壊41戸	(小野田市)負傷者7人、家屋全壊1戸、家屋半壊10戸、床上浸水1戸 (山陽町)家屋全壊2戸、家屋半壊1戸、床上浸水11戸、床下浸水23戸
H11年 9月24日	台風第18号は、中心気圧950hpa、最大風速45m/sの大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者4人、軽傷者7人、家屋全壊13戸、家屋半壊536戸、床上浸水241戸、床下浸水3,408戸	(小野田市)重傷者12人、軽傷者70人、家屋全壊17戸、家屋半壊118戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水83戸 (山陽町)負傷者5人、住宅全壊32世帯、半壊421世帯、非住居の被害215戸、救出者21人
H21年 7月21日 ～7月26日	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成21年7月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの水害をもたらした。	家屋半壊4戸、床上浸水42戸、床下浸水20戸	床上浸水44戸、床下浸水221戸、救助出動9件、救助人員49名
H22年 7月15日	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの水害をもたらした。	家屋半壊1戸、家屋一部損壊8戸、床上浸水2戸、床下浸水60戸	家屋半壊8戸、床上浸水446戸、床下浸水351戸、救助人員92名(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	宇部市内	B29爆撃機による空襲 4,953戸全焼 罹災世帯23,413世帯 死者336人 負傷者591人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物7棟焼損(1,404㎡) 損害額 21,989千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物4棟焼損(5,690㎡) 負傷者 6人 損害額 70,000千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物1棟全焼(2,507㎡) 損害額 24,717千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物1棟(560㎡) 死者11人 負傷者38人 損害額 250,000千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3日間延焼 462ha焼失 損害額 37,582千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物4棟焼損(999㎡) 損害額 2,704千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物12棟焼損(1,788㎡) 罹災世帯19世帯 負傷者2人 損害額 30,506千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物18棟焼損(2,658㎡) 罹災世帯26世帯 負傷者2人 損害額 93,458千円
H元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物1棟全焼(4,068㎡) 罹災世帯3世帯 負傷者3人 損害額 510,776千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎2棟全焼(919㎡) 損害額 7,048千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物1棟全焼(659㎡) 損害額 5,050千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎1棟全焼(347㎡) 損害額 1,700千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物3棟全焼(292㎡) 罹災世帯12世帯 罹災人員41人 損害額 168,298千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積27ha 損害額 24,003千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火)建物1棟部分焼 損害額 17,130千円(原因は落雷) 負傷者1人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物1棟全焼(869㎡) 損害額 134,410千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物1棟全焼(660㎡) 損害額 151,675千円

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼(1,486㎡) 罹災世帯25世帯 罹災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 熔融金属が飛散し出火建物は爆発により損壊したが、火災による損害はスクラップのみ

(4) 旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼(298坪) 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館(200坪)を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 罹災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校校舎(木造2階建)から出火 校舎半焼(542㎡) 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

(5) 山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17. 10. 24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

5 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日	
1	山口県内広域消防相互応援協定	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定	山口市・宇部市	H24. 3. 28	
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1	
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1	
8	山口県宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1	
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス	山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		LPガス	山口県LPガス協会宇部小野田支部 山口県LPガス協会厚狭支部	H24. 4. 1
10	救急車医師同乗システムに関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
11	気管挿管実習に係る協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
		宇部興産株式会社中央病院		
		山口労災病院		

総務



山口宇部空港

空の玄関口である山口宇部空港は、海に見立ててデザインされた建物が印象的な空港です。宇部市はもちろん、山口県内のお土産が手に入る場所でもあります。(宇部市)

きららビーチ焼野

竜王山のふもとに広がる浜辺にはフェニックスが植えられ、地中海風のビーチハウスが立ち並ぶ様子は、南欧のリゾート地のようなお洒落な雰囲気漂わせます。ここからの夕陽は、2001年（平成13年）日本の夕日百選に選ばれました。

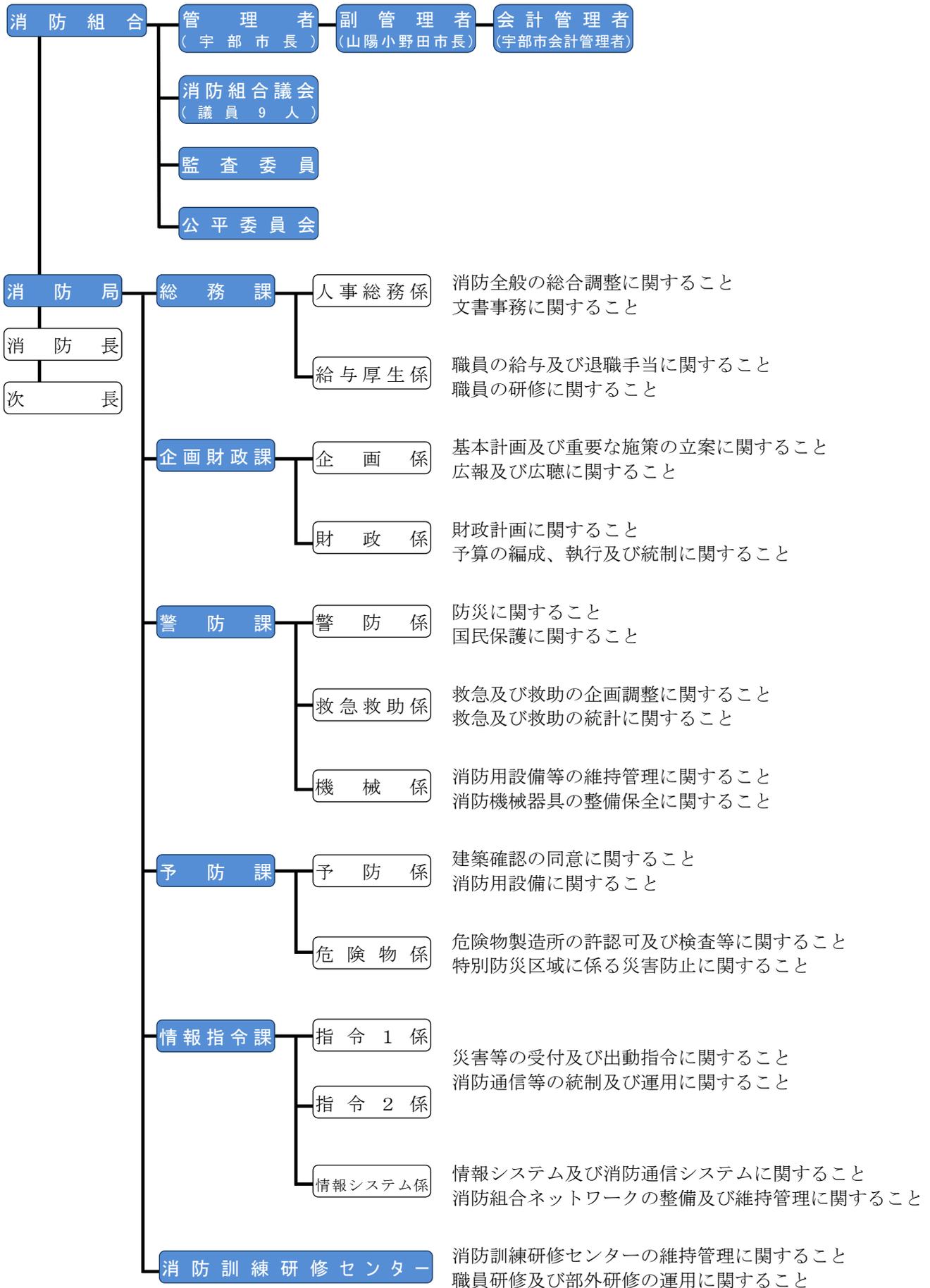
(山陽小野田市)

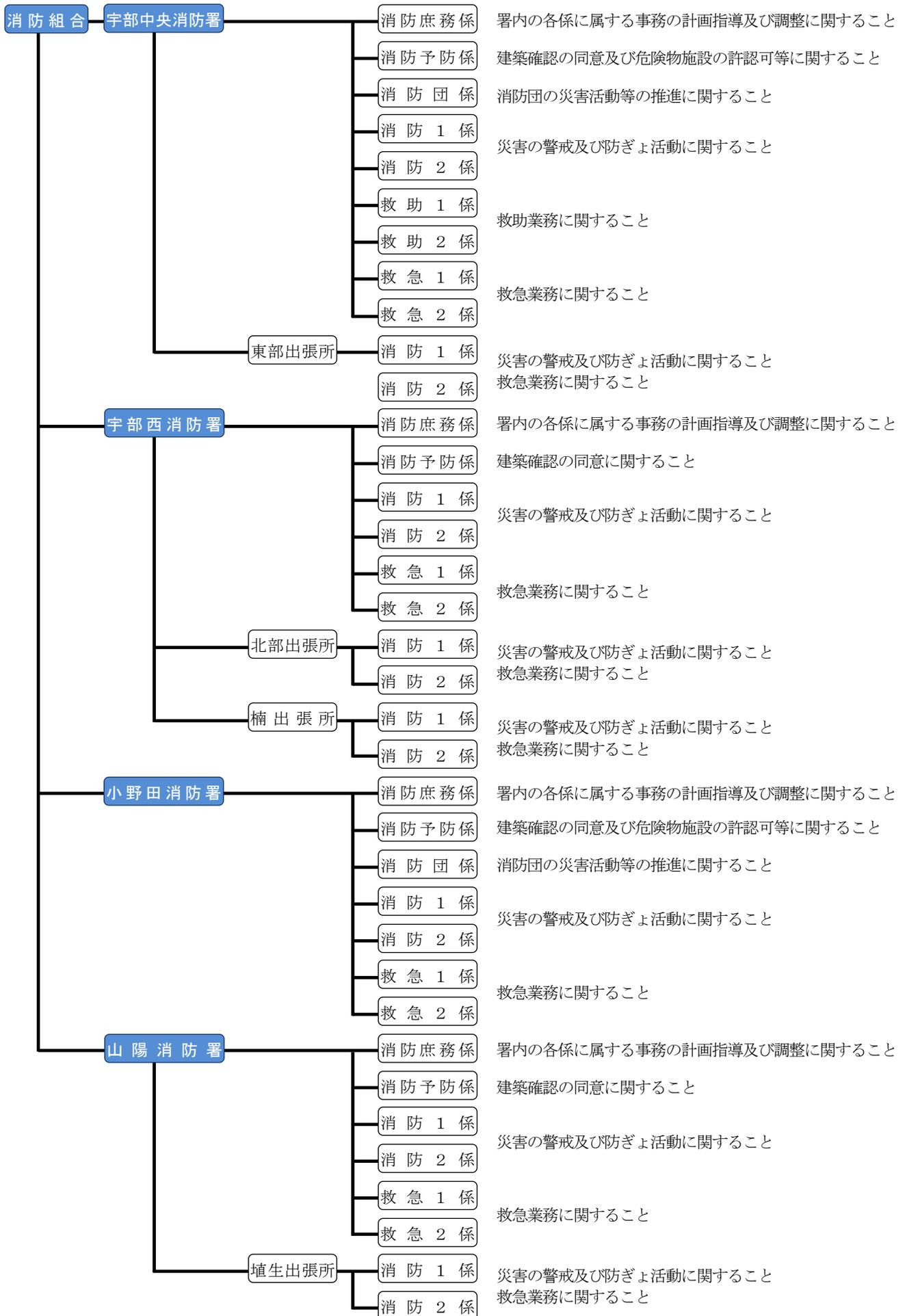


1年間の主な行事

- 6月第2週……………危険物安全週間
- 8月30日～9月5日……………防災週間
- 9月1日……………防災の日
- 9月9日……………救急の日
- 11月9日……………119番の日
- 11月9日～11月15日……………秋季火災予防運動
- 1月15日～1月21日……………防災とボランティア週間
- 1月17日……………防災とボランティアの日
- 1月26日……………文化財防火デー
- 3月1日～3月7日……………春季火災予防運動
- 3月7日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務





2 消防局・消防署職員配置表

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	
定員			298										
実員			298	1	4	10	38	67	113	14	51		
消防局	消防長		1	1									
	次長		1		1								
	総務課	課長		1			1						
		課長補佐		1				1					
		人事総務係		3					1	2			
		給与厚生係		3					1	2			
		総務課付		17					3	1		13	
	企画財政課	課長		1			1						
		課長補佐		1				1					
		企画係		1						1			
		財政係		1						1			1※
	警防課	課長		1			1						
		課長補佐		1				1					
		警防係		2					1	1			
		救急救助係		3					1	2			
		機械係		1						1			
	予防課	課長		1			1						
		課長補佐		1				1					
		予防係		3					1	2			
		危険物係		4					2	2			
	情報指令課	課長		1		1							
		課長補佐		4				4					
		指令1係		6				1	3	2			
指令2係			5				1	2	1	1			
情報システム係			1						1				
訓練研修センター						1※							
小計			65	1	2	4	10	15	19	1	13		

1※については、構成市からの派遣職員又は兼務職員を示すもので、職員数には算入せず。

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
宇部 中央 消防署	署 長	1		1							
	副 署 長	1			1						
	副 主 幹	1				1					
	消 防 庶 務 係	1				1					
	消 防 予 防 係	3					1	2			
	消 防 団 係	1					1				
	中 央 消 防 署 付	0									
	警 備 司 令	2				2					
	消 防 1 係	12				1	2	5	1	3	
	救 助 1 係	5				1		3		1	
	救 急 1 係	9				1	2	4		2	
	消 防 2 係	12				1	3	4	2	2	
	救 助 2 係	5				1	1	2		1	
	救 急 2 係	9					3	4	1	1	
	東 部 出 張 所 長	1				1					
	東 部 消 防 1 係	10				1	2	6		1	
	東 部 消 防 2 係	10					2	7		1	
	小 計	83		1	1	11	17	37	4	12	
宇部 西 消 防 署	署 長	1			1						
	副 署 長	1			1						
	消 防 庶 務 係	1				1					
	消 防 予 防 係	2				1	1				
	警 備 司 令	2				2					
	消 防 1 係	9				1	2	5		1	
	救 急 1 係	4					2	1		1	
	消 防 2 係	9				1	2	5		1	
	救 急 2 係	4				1	1	1		1	
	北 部 出 張 所 長	1				1					
	北 部 消 防 1 係	8					2	5	1		
	北 部 消 防 2 係	8					2	5		1	
	楠 出 張 所 長	1				1					
	楠 消 防 1 係	8					3	4		1	
楠 消 防 2 係	8					3	5				
小 計	67			2	8	18	32	1	6		

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
小野田消防署	署長	1		1							
	副署長	1			1						
	消防庶務係	1					1				
	消防予防係	3					1	1	1		
	消防団係	2					1	1			
	警備司令	2				2					
	消防1係	12				1	2	4		5	
	救急1係	5					1	2	1	1	
	消防2係	12				1	4	3	1	4	
	救急2係	5					1	2	1	1	
	小計	44		1	1	3	11	13	4	11	
山陽消防署	署長	1			1						
	副署長	1			1						
	消防庶務係	1						1			
	消防予防係	1						1			
	警備司令	2				2					
	消防1係	7					2	2		3	
	救急1係	4					1	2	1		
	消防2係	7				1	1	1	1	3	
	救急2係	4					1	2		1	
	埴生出張所長	1				1					
	埴生消防1係	5				1		2	1	1	
	埴生消防2係	5				1	1	1	1	1	
小計	39			2	6	6	12	4	9		

3 消防職員階級別勤続年数

勤続年数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	計
1年未満								14		14
1								9		9
2								19		19
3							1	2		3
4							2	1		3
5						2	2	3		7
6						1	1	3		5
7						4	3			7
8						5				5
9						2				2
10						9	1			10
11						5	2			7
12						1				1
13						1				1
14						10	1			11
15										0
16					1	6				7
17					1	9				10
18					2	5				7
19					3	10				13
20					9	11				20
21					5	8				13
22					1	7				8
23					7	1				8
24					4	1				5
25					2					2
26				1	4					5
27				1	1					2
28			1	1		1				3
29				1	4					5
30				1	2	1				4
31				2	1	3				6
32			1	5	5	3				14
33		1	1	5	3					10
34			3	5	8	5				21
35		2	3	4	2	1				12
36	1			5	2					8
37		1	1	1						3
38				2						2
39						1				1
40				3			1			4
41				1						1
計	1	4	10	38	67	113	14	51		298
平均	36.0	35.0	33.7	33.9	26.1	17.9	9.6	1.8	0	19.5

4 消防職員階級別年齡

年 齡	消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	計
18								4		4
19								3		3
20										0
21								4		4
22								8		8
23								11		11
24								11		11
25								3		3
26						1	1	2		4
27						1	1	2		4
28						2	3	2		7
29						2	2			4
30						2	2	1		5
31						6	1			7
32						5	2			7
33						1				1
34						5				5
35						6	1			7
36						4				4
37						8				8
38						13				13
39						10				10
40					2	6				8
41					3	7				10
42					6	7				13
43					6	5				11
44					6	5				11
45				1	4	1				6
46					3	1				4
47					4	1				5
48				1	4	1				6
49				2	2	1				5
50			1	3	3	1				8
51				2	4					6
52				1	3	5				9
53			2	2	3					7
54				6	6					12
55			3	2	1	4				10
56			1	4	2	1				8
57		1	2	2	4					9
58		1		5		1	1			8
59	1	2	1	7	1					12
計	1	4	10	38	67	113	14	51		298
平均	59.0	58.3	55.0	54.6	48.1	39.3	31.6	23.0	0	40.9

5 特殊技能・技術資格者

(職員数298人)

	資格種別	人数	資格種別	人数	資格種別	人数
自動車免許	普通1種	295	水上安全救助員	33	危険物取扱者甲種	5
	普通2種	1	水上安全指導員	2	危険物取扱者乙種	64
	中型1種	26	潜水士	124	危険物取扱者丙種	36
	中型2種	1	小型船舶操縦士	48	映写技術者	41
	大型1種	224	第2級陸上特殊無線技士	232	毒劇物取扱者	7
	大型2種	1	第3級陸上特殊無線技士	39	消防設備士	23
	大型特殊1種	7	アマチュア無線技術者	20	衛生管理者	7
	大型特殊2種	2	自動車整備免許2級	4	安全衛生推進者	1
	けん引1種	4	玉掛技能者	98	電気工事士	8
	けん引2種	1	足場組立等作業主任者	16	ボイラー技士	14
	自動2輪	121	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	47	移動式クレーン	105
	小型特殊	4	有機溶剤作業主任者	2	予防技術資格者(消防用設備)	19
救急隊員資格	I課程	76	研削といし	4	予防技術資格者(危険物)	15
	II課程	70	ガス溶接講習	70	予防技術資格者(防火査察)	52
	標準課程	119				
	救急救命士	53				

6 消防予算(平成26年度当初予算)

(1) 歳入

(単位：千円)

款	平成26年度予算額	前年度予算額	比較
分担金及び負担金	2,832,628	2,866,025	△33,397
使用料及び手数料	28,956	32,581	△3,625
国庫支出金	10,714	0	10,714
県支出金	59,454	109,000	△49,546
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	5,184	4,449	735
組合債	55,700	42,700	13,000
歳入合計	2,993,636	3,055,755	△62,119

(2) 歳出

(単位：千円)

款	平成26年度 予算額	前年度 予算額	比較	平成26年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	327	337	△10	0	0	0	327
総務費	13,332	11,517	1,815	0	0	896	12,436
消防費	2,968,082	3,039,469	△71,387	70,168	55,700	53,213	2,789,001
公債費	7,895	432	7,463	0	0	0	7,895
予備費	4,000	4,000	0	0	0	0	4,000
歳出合計	2,993,636	3,055,755	△62,119	70,168	55,700	54,109	2,813,659

(3) 分担金の内訳

(単位：千円)

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率(%) B/A×100	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	66,030,000	1,867,363	2.83	1,826,669	40,694
山陽小野田市	28,286,400	941,822	3.33	932,636	9,186
合計	94,316,400	2,809,185	2.98	2,759,305	49,880

(4) 消防費と管内人口・世帯数との割合

消 防 費 予 算	1人当たりの消防費	1世帯当たりの消防費	人 口 / 世 帯 数
2,993,636,000 円	12,686 円	27,975 円	235,978 人
			107,012 世帯

(5) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

消防吏員1人に対して			消 防 署 数 に 対 し て			常備消防ポンプ自動車 1 台 に 対 し て			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)
1.4	359.1	791.9	105.2	26,753	58,994.5	24.7	6,294.8	13,881.1	38.2	9,728.4	21,452.5
298 人			4 署			17 台			11 台		

7 特殊勤務手当

消 防 業 務 従 事 手 当	1 救急業務に従事した職員		
	(1)救急救命士	1回	500円
	(2)機関員	1回	400円
	(3)(1)及び(2)以外の職員	1回	300円
	2 救助業務に従事した職員		
	(1)機関員	1回	400円
	(2)(1)以外の職員	1回	300円
	3 火災出動業務に従事した職員		
	(1)機関員	1回	400円
	(2)(1)以外の職員	1回	300円
	4 潜水業務に従事した職員	1回	1,000円
	5 緊急消防援助隊として従事した職員	1日	1,680円
	6 夜間勤務に従事した職員	1回	410円

8 消防庁舎

(1) 宇部・山陽小野田消防局（宇部中央消防署）

所在地：宇部市港町二丁目3番30号 敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造3階建	2,720.68 m ²	H元年1月
訓練塔	鉄筋コンクリート造6階建	264.00 m ²	H元年1月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク6kl）	231.00 m ²	H元年1月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H元年1月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目6番1号 敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造2階建	2,397.30 m ²	H11年3月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11年3月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造5階建（補助塔3階）	342.13 m ²	H12年1月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンクSUS製20kl）	58.36 m ²	H12年3月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12年3月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市大字東須恵707番地4 敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	684.57 m ²	S53年4月
倉庫棟	ブロック造平屋建	54.92 m ²	S53年4月
自転車置場	鉄骨造平屋建	6.00 m ²	S53年4月
車庫棟	鉄骨造平屋建	102.13 m ²	H16年3月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭487番地9 敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,290.71 m ²	H25年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造3階建	105.00 m ²	H25年3月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造3階建	90.00 m ²	H25年3月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25年3月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波761番地1 敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	430.86 m ²	S55年4月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S55年4月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬11051番地 敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	520.65 m ²	H7年4月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木467番地6 敷地面積：1,063.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	250.76 m ²	S49年9月
救急消毒室棟	鉄骨造平屋建	24.65 m ²	H19年8月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生3229番地12 敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	243.55 m ²	S56年4月
車庫棟	鉄筋コンクリート造	90.00 m ²	S56年4月

予 防



宗隣寺

1670年(寛文10年)、宇部領主福原氏が菩提所として再建しました。

「龍心庭」は南北朝時代に築かれた山口県最古の庭園で、小石を敷き詰めた池の浅瀬は「干潟様」と称し、古庭園では岩手県の毛越寺とここにしか現存しない貴重な庭園で、国の名勝庭園に指定されています。(宇部市)

寝太郎堰

寝太郎伝説(厚狭川から水を取り入れる堰と灌漑用水路を作り、荒れ地を美田に変えた)にちなむ井堰で、現在の堰は1968年(昭和43年)に完成しました。ここから厚狭盆地に灌漑用水を導入しています。2006年(平成18年)に疎水100選に選ばれました。(山陽小野田市)



全国統一防火標語

(過去10年間)

平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成23年度	消したはず 決めつけないで もう一度
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火。
平成17年度	あなたです 火のあるくらしの 見はり役

危険物安全週間（毎年6月の第2週）推進標語

(過去10年間)

平成26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害
平成25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔
平成24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害
平成23年度	危険物無事故のゴールは譲れない！
平成22年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣
平成21年度	安全は 意識と知識と 心掛け
平成20年度	安全へ確かなスマッシュ保守点検
平成19年度	危険物目指せ無事故のMVP
平成18年度	自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ
平成17年度	危険物 かさねる無事故の 金メダル

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

防火対象物用途区分			防火対象物数			立入検査回数
			宇部市	山陽小野田市	合計	
1	イ	劇場・映画館	4	7	11	4
	ロ	公会堂・集会場	75	45	120	44
2	イ	キャバレー・カフェ	1		1	
	ロ	遊技場・ダンスホール	23	6	29	9
	ハ	性風俗施設等			0	
	ニ	カラオケボックス等	8		8	7
3	イ	待合・料理店	2	5	7	5
	ロ	飲食店	133	33	166	65
4		百貨店・マーケット	250	95	345	193
5	イ	旅館・ホテル	40	23	63	49
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,086	548	2,634	132
6	イ	病院・診療所等	192	58	250	139
	ロ	老人短期入所施設等	85	26	111	120
	ハ	老人デイサービスセンター等	131	45	176	76
	ニ	幼稚園・特別支援学校	30	8	38	13
7		小中高大学及び各種学校	294	100	394	237
8		図書館・博物館	5	3	8	4
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1		1	
	ロ	公衆浴場	6	2	8	5
10		駅舎・空港	3	6	9	
11		神社・寺院・教会	118	70	188	16
12	イ	工場・作業場	1,089	430	1,519	319
	ロ	映画スタジオ			0	
13	イ	自動車車庫	97	41	138	15
	ロ	飛行機等の格納庫	1		1	3
14		倉庫	878	316	1,194	108
15		前各号に該当しない事業所	734	452	1,186	184
16	イ	特定用途を含む複合対象物	372	119	491	117
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	255	95	350	17
16の2		地下街			0	
16の3		準地下街			0	
17		文化財保護法にいう建物		1	1	
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林			0	
20		総務省令で定める舟車			0	
合計			6,917	2,534	9,451	1,881

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	2						
	ロ	公会堂・集会場	30	16	1	2				
2	イ	キャバレー・カフェー								
	ロ	遊技場・ダンスホール	6	5	1	1				
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	8							
4		百貨店・マーケット	37	17	6					
5	イ	旅館・ホテル	1	5	1	1				
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	6	3	1		1	1		
	ロ	老人短期入所施設等	3		1					
	ハ	老人デイサービスセンター等								
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2							
7		小中高大学及び各種学校								
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					1	3		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	43	9	6	1	6	1	1	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					12	4		
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
18		延長50m以上のアーケード								
19		市町村長の指定する山林								
20		総務省令で定める舟車								
合 計			137	57	17	5	20	9	1	0

2 建築確認同意処理件数

防火対象物別			区分	宇 部 市				山陽小野田市				総計
				新 築	増 築	その他	合計	新 築	増 築	その他	合計	
1	イ	劇場・映画館										
	ロ	公会堂・集会場										
2	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場・ダンスホール	1			1						1
	ハ	性風俗施設等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店	1			1						1
4		百貨店・マーケット	9			9	2				2	11
5	イ	旅館・ホテル										
	ロ	寄宿舎・共同住宅	23	1		24	9		1		10	34
6	イ	病院・診療所等	4	5	1	10	3		1		4	14
	ロ	老人短期入所施設等	5	3	1	9	6		2		8	17
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	2	2	9		1			1	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1	1		2						2
7		小中高大学及び各種学校	11	6		17	3				3	20
8		図書館・博物館										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場										
	ロ	公衆浴場										
10		駅舎・空港										
11		神社・寺院・教会	7	1		8	1	1			2	10
12	イ	工場・作業場	9	2	1	12	8	1	1		10	22
	ロ	映画スタジオ	1			1						1
13	イ	自動車車庫	5			5						5
	ロ	飛行機等の格納庫										
14		倉庫	7	1	1	9	10				10	19
15		前各号に該当しない事業所	57	4	4	65	17				17	82
16	イ	特定用途を含む複合対象物	3	1		4		1			1	5
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	1			1						1
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		文化財保護法にいう建物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村長の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
		住 宅	92	1	2	95	45		3		48	143
		危 険 物 施 設	1	1		2	4	1			5	7
		そ の 他	11	1		12	11	2	4		17	29
		合 計	254	30	12	296	119	7	12		138	434

3 防火管理者選任状況

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計
1	イ	劇場・映画館	1	3	4	1	3	4
	ロ	公会堂・集会場	73	18	91	58	18	76
2	イ	キャバレー・カフェー	1		1	1		1
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	6	20	13	6	19
	ハ	性風俗施設等			0			0
	ニ	カラオケボックス等	8		8	8		8
3	イ	待合・料理店		3	3		3	3
	ロ	飲食店	131	25	156	87	24	111
4		百貨店・マーケット	173	67	240	144	67	211
5	イ	旅館・ホテル	22	18	40	22	18	40
	ロ	寄宿舍・共同住宅	123	51	174	72	50	122
6	イ	病院・診療所等	47	22	69	41	22	63
	ロ	老人短期入所施設等	53	19	72	48	19	67
	ハ	老人デイサービスセンター等	53	33	86	47	33	80
	ニ	幼稚園・特別支援学校	20	7	27	20	7	27
7		小中高大学及び各種学校	20	26	46	18	26	44
8		図書館・博物館	3	3	6	3	3	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			0			0
	ロ	公衆浴場	2		2	1		1
10		駅舎・空港			0			0
11		神社・寺院・教会	73	30	103	64	30	94
12	イ	工場・作業場	12	20	32	10	20	30
	ロ	映画スタジオ			0			0
13	イ	自動車車庫	3		3	3		3
	ロ	飛行機等の格納庫			0			0
14		倉庫	5	3	8	3	3	6
15		前各号に該当しない事業所	87	42	129	76	42	118
16	イ	特定用途を含む複合対象物	220	57	277	200	55	255
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	190	33	223	175	33	208
16の2		地下街			0			0
16の3		準地下街			0			0
17		文化財保護法にいう建物		1	1		1	1
18		延長50m以上のアーケード			0			0
19		市長村長の指定する山林			0			0
20		総務省令で定める舟車			0			0
合計			1,334	487	1,821	1,115	483	1,598

4 危険物施設設置状況

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		30	36	66
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	102	95	197
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	232	301	533
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	7		7
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	73	37	110
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	104	71	175
	屋 外 貯 蔵 所	16	23	39
取 扱 所	給 油 取 扱 所	80	39	119
	第 1 種 販 売 取 扱 所	4		4
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1		1
	一 般 取 扱 所	209	115	324
	移 送 取 扱 所	2	2	4
構 成 市 別 合 計		860	719	1,579

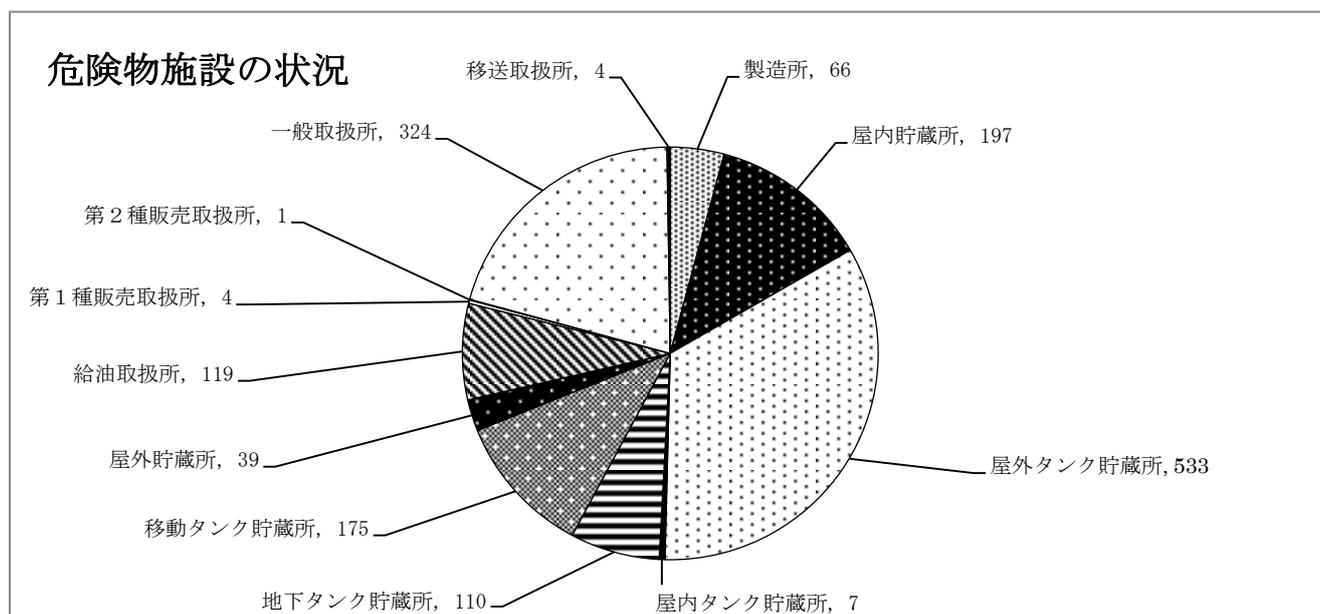
5 危険物許認可状況

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃 止
製 造 所		2	88	76	2	74	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	7	4	3	6	3	2
	屋外タンク貯蔵所	2	62	36	1	40	11
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所	1	1	1	2	1	1
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	7	9		7	10	8
	屋 外 貯 蔵 所	1	1	1	1	1	2
小 計		18	77	41	17	55	24
取 扱 所	給 油 取 扱 所		11	10		10	
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	一 般 取 扱 所	2	117	110	1	103	11
	移 送 取 扱 所		1	1		1	
小 計		2	129	121	1	114	11
合 計		22	294	238	20	243	35

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	62
	基 礎 地 盤 検 査	
	溶 接 部 検 査	2
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		16
水 張 水 圧 検 査 (条 例)		

6 危険物施設の現況及び立入検査状況

区 分		類別							立 入 検 査 数	
		1類	2類	3類	4類	5類	6類	混類		計
製 造 所		2	2		31		1	30	66	103
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	2	5	147	5	1	26	197	77
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		508	2	17		533	164
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				7				7	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				110				110	62
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								0	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				162		13		175	171
	屋 外 貯 蔵 所		1		38				39	13
取 扱 所	給 油 取 扱 所				119				119	128
	第 1 種 販 売 取 扱 所				4				4	
	第 2 種 販 売 取 扱 所				1				1	
	一 般 取 扱 所	1	3	1	296		5	18	324	199
	移 送 取 扱 所				3		1		4	1
合 計	14	14	6	1,426	7	38	74	1,579	918	



7 宇部・小野田地区特別防災区域

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、ユーエムジー・エービーエス(株)宇部工場敷地から、西側は、厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は 6,655,136 m²で、その状況は別図のとおりである。

区域の名称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市名	宇部市			
市の面積	287.71 km ²			
市の人口	172,184 人 (世帯数：78,653 世帯)			
様態	化学工場、油槽所、火力発電、その他			
地区	面積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
東見初町及び大字沖宇部字沖ノ山	1,149,162	◇セントラル硝子(株) 宇部工場 (セントラル化成(株) 宇部工場)	◇ユーエムジー・エービーエス(株)宇部工場	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)宇部デリバリー ◇セントラル硝子(株) 化学研究所(宇部) ◇宇部市下水道部 東部浄化センター ◇宇部市市民環境部 環境保全センター ◇セントラルエンジニアリング(株) ◇ウベボード(株) 東見初工場
大字小串字沖字沖ノ山	2,422,225	◇宇部興産(株) 宇部ケミカル工場 (宇部エムス(有))	◇宇部興産(株) 宇部セメント工場 ◇日興石油(株) 沖の山油槽所 ◇チタン工業(株) ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場 第1工場	◇宇部興産(株)建設資材カンパニー技術開発研究所 ◇宇部興産(株)研究開発本部 有機化学研究所 ◇(株)宇部スチール ◇宇部興産機械(株) ◇明和化成(株) ◇ウベボード(株) ◇エムシー・ファーティコム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場 第2工場
大字藤曲字昭和開作	776,986	◇宇部興産(株) 宇部藤曲工場	◇協和発酵バイオ(株) 山口事業所宇部 (協和発酵キリン(株) 宇部工場) ◇宇部MC過酸化水素(株) 宇部工場	
大字西沖ノ山字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所 (宇部興産(株)西沖の山 石灰石センター) (宇部興産(株)西沖倉庫)		◇宇部興産(株) 特大車西沖給油所
合計	6,655,136	4	7	16

別図 宇部・小野田地区石油コンビナート等
特別防災区域特定事業所



- 第1種特定事業所
- 第2種特定事業所
- その他の事業所

8 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

ウ 会 員

603事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局（予防課）

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関する事項
- (イ) クラブの運営指導の研究に関する事項
- (ウ) クラブの育成指導に関する事項
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関する事項
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関する事項
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項

ウ クラブ数

区分	クラブ名称	結成年月	人員
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	214
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	240
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	105
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	69
	若蔦幼稚園幼年消防クラブ	昭和 60 年 4 月	0
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 2 月	180
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月	45
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和 63 年 3 月	387
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 9 月	30
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和 58 年 9 月	142
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和 60 年 6 月	117
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 7 月	152
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 8 月	98
	西福寺保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 10 月	71
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 8 月	131
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 10 月	145
日の出保育園幼年消防クラブ	平成 8 年 9 月	138	
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和 55 年 4 月	38
	恩田地区少年消防クラブ	昭和 55 年 5 月	15
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	522
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	8
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	18
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和 45 年 3 月	355
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和 46 年 3 月	130
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和 47 年 6 月	42
婦人防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和 55 年 6 月	100
	埴生漁協婦人防火クラブ	昭和 58 年 8 月	23
総計	27 団体		3,515

警

防



吉部の大岩郷

「昔、大男が担いでいた天秤から大岩がこぼれ落ちてきた」という吉部の大岩郷。約3ヘクタールにわたって巨大な岩塊が数段に重なり運河のようになっており、国の天然記念物に指定されています。(宇部市)

小野田セメント徳利窯

1881年(明治14年)に創業した国内初の民間セメント会社旧小野田セメントで建造された、現存する唯一のセメント焼成用竪窯で、国の重要文化財、県指定史跡、日本化学遺産等に指定されています。

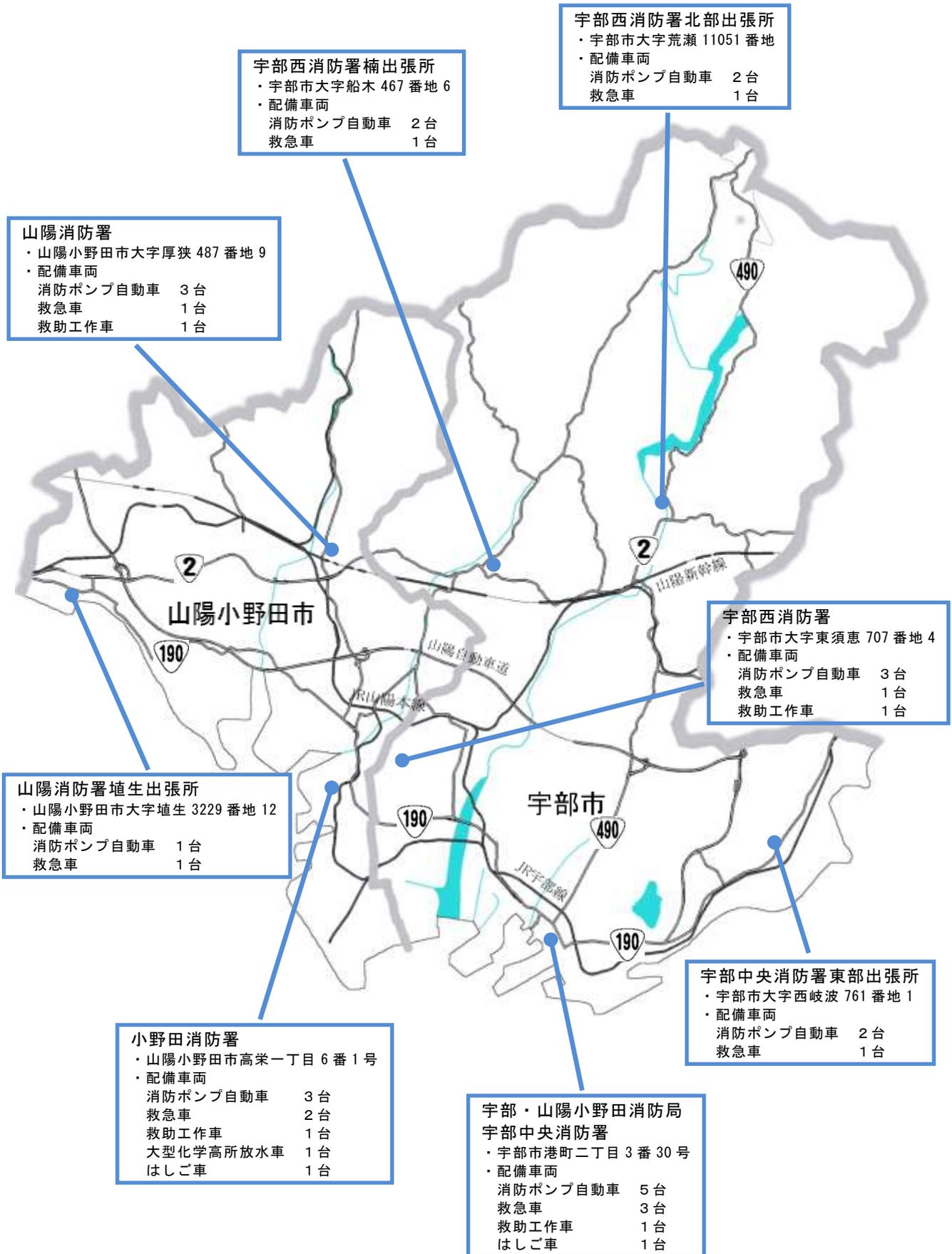
(山陽小野田市)



緊急消防援助隊

		部隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	指揮隊	2	
	消火小隊	23	4
	救助小隊	7	2
	救急小隊	15	2
	後方支援小隊	11	1
	航空小隊	1	
	特殊災害小隊	2	
	特殊装備小隊	5	
	合計	66	9

1 消防配置図



2 消防車両

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	購入年. 月	ポンプ級別等
消防局	本部 1	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	本部 2	広 報 車	マ ツ ダ	H20 年 2 月	
	本部 3	指 揮 車	ト ヨ タ	H8 年 12 月	
	本部 4	指 揮 車	日 産	H14 年 3 月	
	本部 5	連 絡 車	ダイハツ	H9 年 5 月	
	本部 6	連 絡 車	ダイハツ	H9 年 10 月	
	本部 7	連 絡 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	本部 8	連 絡 車	ダイハツ	H9 年 10 月	
	本部 9	広 報 車	マ ツ ダ	H14 年 3 月	
宇部中央消防署	中央指揮 1	現 場 指 揮 車	い す ゞ	H13 年 3 月	
	中央はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H22 年 11 月	
	中央タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H6 年 3 月	A-2
	中央ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 2	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H7 年 12 月	A-1
	中央資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H12 年 2 月	
	中央資材 2	資 材 運 搬 車	三 菱	H12 年 2 月	2.2t クレーン付
	中央大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H10 年 12 月	A-1
	中央化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24 年 3 月	A-2
	中央救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H13 年 12 月	
	中央充填 1	空 気 充 填 車	日 野	H15 年 2 月	
	中央救急 1	高 規 格 救 急 車	三 菱	H18 年 3 月	
	中央救急 2	高 規 格 救 急 車	日 産	H21 年 10 月	
	中央救急 3	高 規 格 救 急 車	日 産	H16 年 2 月	
	中央 1	連 絡 車	ダイハツ	H12 年 2 月	
中央 2	広 報 車	マ ツ ダ	H14 年 3 月		
宇部中央消防署 東部出張所	東タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H14 年 12 月	A-2
	東ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	H9 年 2 月	A-2
	東救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H24 年 2 月	
	東 1	連 絡 車	ス バ ル	H14 年 3 月	

所属	車両名称	種別	車両メーカー	購入年.月	ポンプ級別等
宇部西消防署	西指揮1	指揮車	三菱	H22年3月	
	西タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H7年3月	A-2
	西ポンプ1	消防ポンプ自動車	いすゞ	H6年12月	A-2
	西化学1	化学消防ポンプ自動車	日野	H20年2月	A-2
	西救助1	救助工作車	日野	H20年11月	
	西救急1	高規格救急車	トヨタ	H19年3月	
	西1	資機材搬送車	トヨタ	H1年12月	
	西2	連絡車	スバル	H14年3月	
宇部西消防署 北部出張所	北タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H25年2月	A-2
	北ポンプ1	消防ポンプ自動車	いすゞ	H7年3月	A-2
	北救急1	高規格救急車	トヨタ	H25年3月	
	北1	連絡車	ダイハツ	H12年2月	
宇部西消防署 楠出張所	楠タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H21年12月	A-2
	楠ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	H19年11月	A-2
	楠救急1	高規格救急車	トヨタ	H25年12月	
	楠1	連絡車	三菱	H21年11月	

所属	車両名称	種別	車両メーカー	購入年月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮1	指揮車	マツダ	H13年1月	
	小野田はしご1	はしご付消防自動車	日野	H14年2月	
	小野田タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H20年2月	A-2
	小野田タンク2	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H13年3月	A-2
	小野田ポンプ1	消防ポンプ自動車	いすゞ	H13年3月	A-2
	小野田水槽1	小型動力ポンプ付水槽車	いすゞ	H10年3月	B-2 (小型動力ポンプ)
	小野田資材1	資材運搬車	トヨタ	H13年1月	2.93t クレーン付
	小野田大化高1	大型化学高所放水車	日野	H26年3月	A-1
	小野田原液1	原液搬送車	日野	H17年2月	ギヤ式ローター ポンプ
	小野田救助1	救助工作車	日野	H20年3月	
	小野田救急1	高規格救急車	トヨタ	H16年3月	
	小野田救急2	高規格救急車	トヨタ	H17年3月	
	小野田1	広報車	トヨタ	H20年12月	
	小野田2	人員搬送車	トヨタ	H15年3月	
	小野田3	連絡車	スズキ	H9年12月	
	小野田4	連絡車	日産	H9年10月	
	小野田5	消火通報訓練指導車	マツダ	H16年8月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	購入年. 月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	山陽タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	H13 年 2 月	A-2
	山陽ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	H11 年 12 月	A-2
	山陽資材 1	資 材 運 搬 車	日 野	H10 年 3 月	
	山陽大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 3 月	A-1
	山陽救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H22 年 3 月	
	山陽救急 1	高 規 格 救 急 車	日 産	H22 年 3 月	
	山陽 1	広 報 車	ト ヨ タ	H15 年 2 月	
埴山陽出張消防署	埴生タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H16 年 1 月	A-2
	埴生救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	H19 年 3 月	
	埴生 1	連 絡 車	三 菱	H7 年 6 月	

3 消防水利

(1) 消火栓

公設私設別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
公 設		1,912	1,324
私 設		239	65
合 計		2,151	1,389

単位：基

(2) 防火水槽

容量別	市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
		公 設	私 設	公 設	私 設
20 m ³ 以上 40 m ³ 未満		8 (0)	3 (0)	12 (0)	4 (0)
40 m ³ 以上 60 m ³ 未満		102 (15)	39 (9)	145 (0)	21 (1)
60 m ³ 以上 100 m ³ 未満		12 (10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
100 m ³ 以上		5 (4)	2 (0)	11 (10)	1 (0)
合 計		127 (29)	48 (9)	168 (10)	27 (1)

単位：基 () 耐震性貯水槽

(3) その他

種別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等		96	86

単位：箇所

4 化学消火剤備蓄状況

備蓄場所 種類	消防組合保有		防災協会保有		合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄	
たん白系3%型		21,240	2,400	14,600	38,240
合成界面活性系	2,080		9,440	8,400	19,920
水成膜3%型	600		8,600		9,200
水溶性液体用 (耐アルコール型)		80		400	480
合 計	2,680	21,320	20,440	23,400	67,840

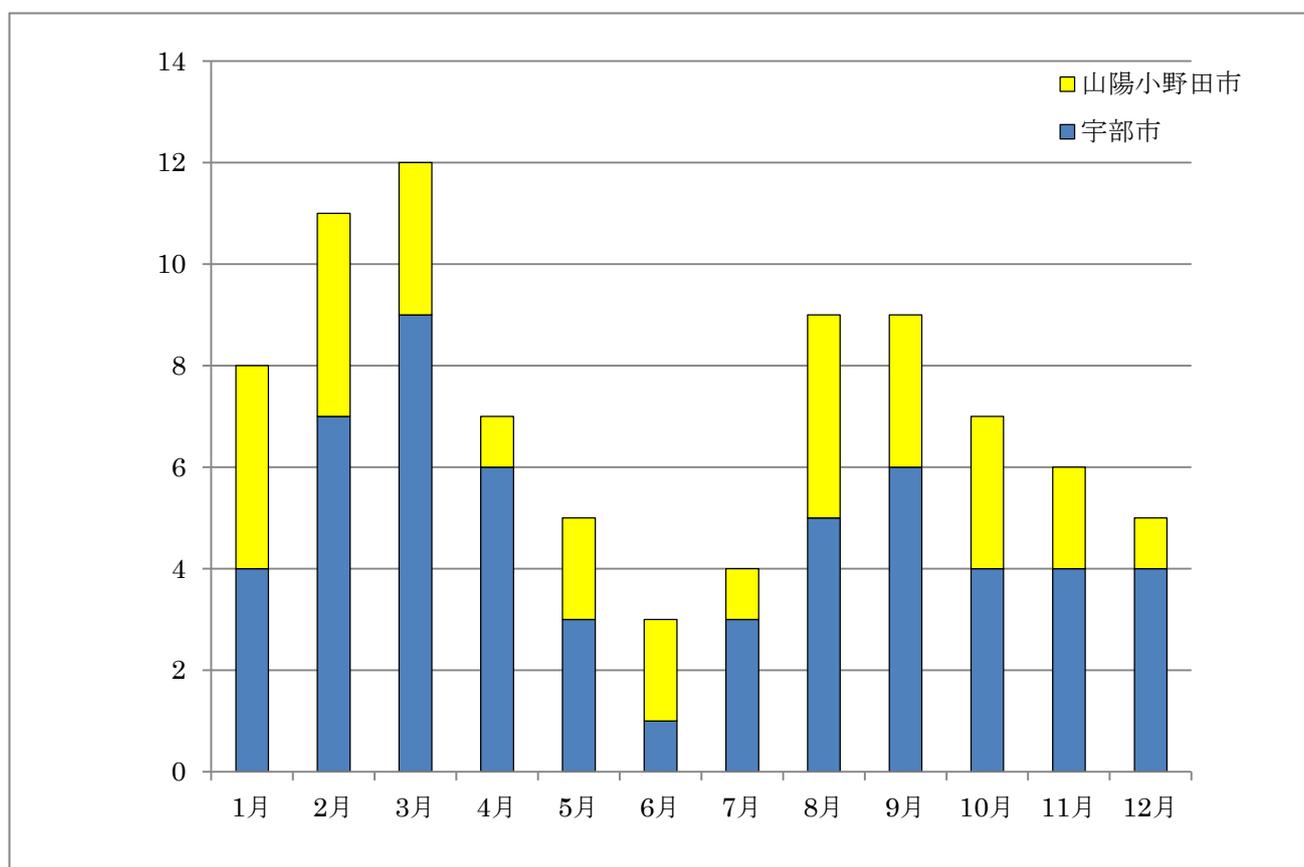
単位：リットル

5 火災

(1) 月別火災発生状況

市別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
宇部市	4	7	9	6	3	1	3	5	6	4	4	4	56
山陽小野田市	4	4	3	1	2	2	1	4	3	3	2	1	30
合計	8	11	12	7	5	3	4	9	9	7	6	5	86

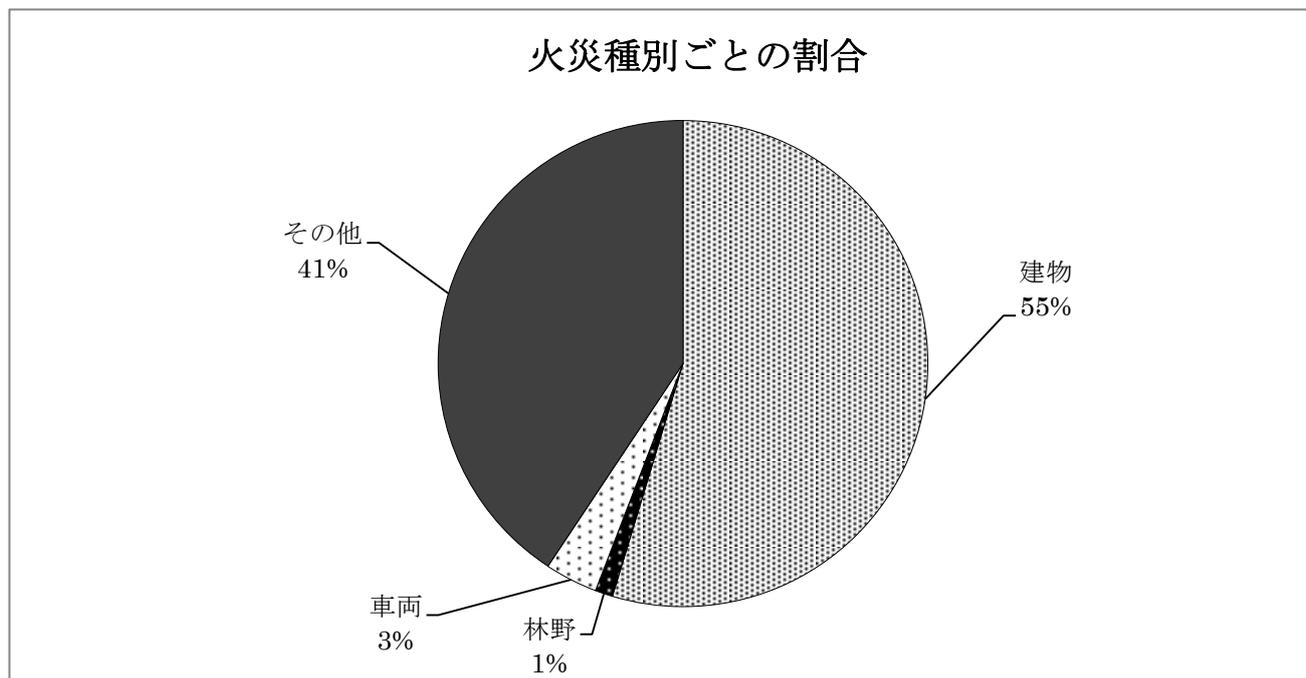
単位：件



(2) 火災種別ごとの件数

市別	種別						
	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
宇部市	31	1	1			23	56
山陽小野田市	16	2				12	30
合計	47	3	1			35	86

単位：件



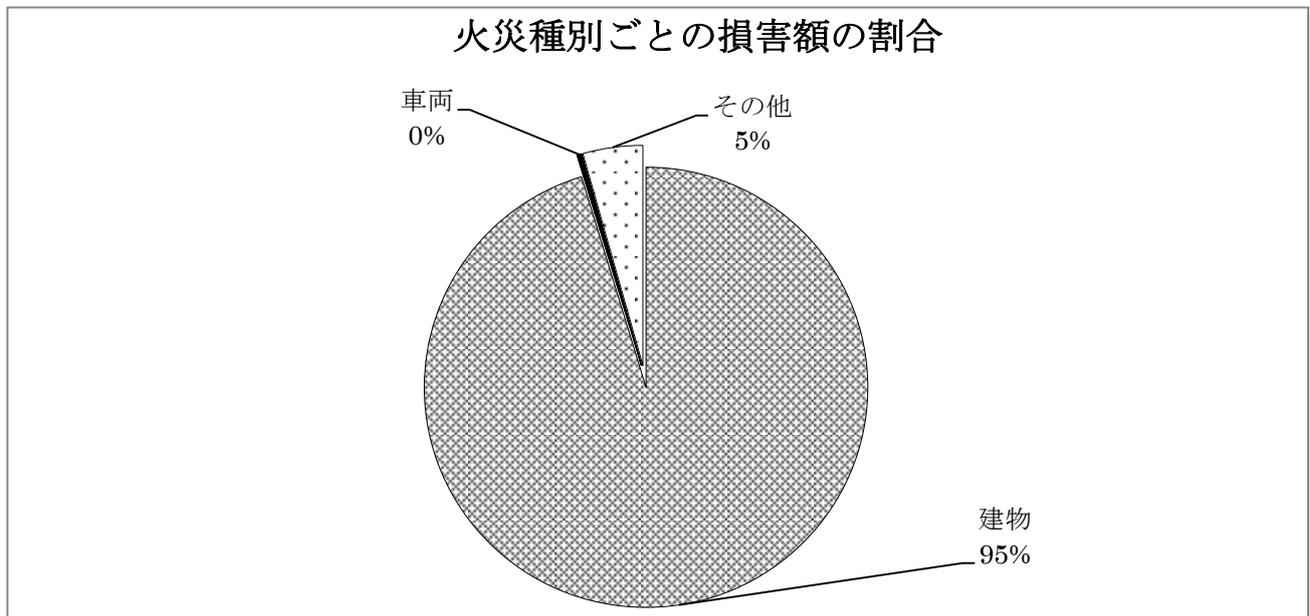
(3) 火災種別ごとの焼損面積

市別	種別						
	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
宇部市	3,342 m ²		1.0a				3,342 m ² 1.0a
山陽小野田市	645 m ²						645 m ²
合計	3,987 m ²		1.0a				3,987 m ² 1.0a

(4) 火災種別ごとの損害額

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市	建 物	126,232	80				7,440
収容物等		20,572						
山陽小野田市	建 物	24,644	546				626	30,471
	収容物等	4,655						
合 計	建 物	150,876	626				8,066	184,795
	収容物等	25,227						

単位：千円



(5) 火災種別ごとの死者及び負傷者

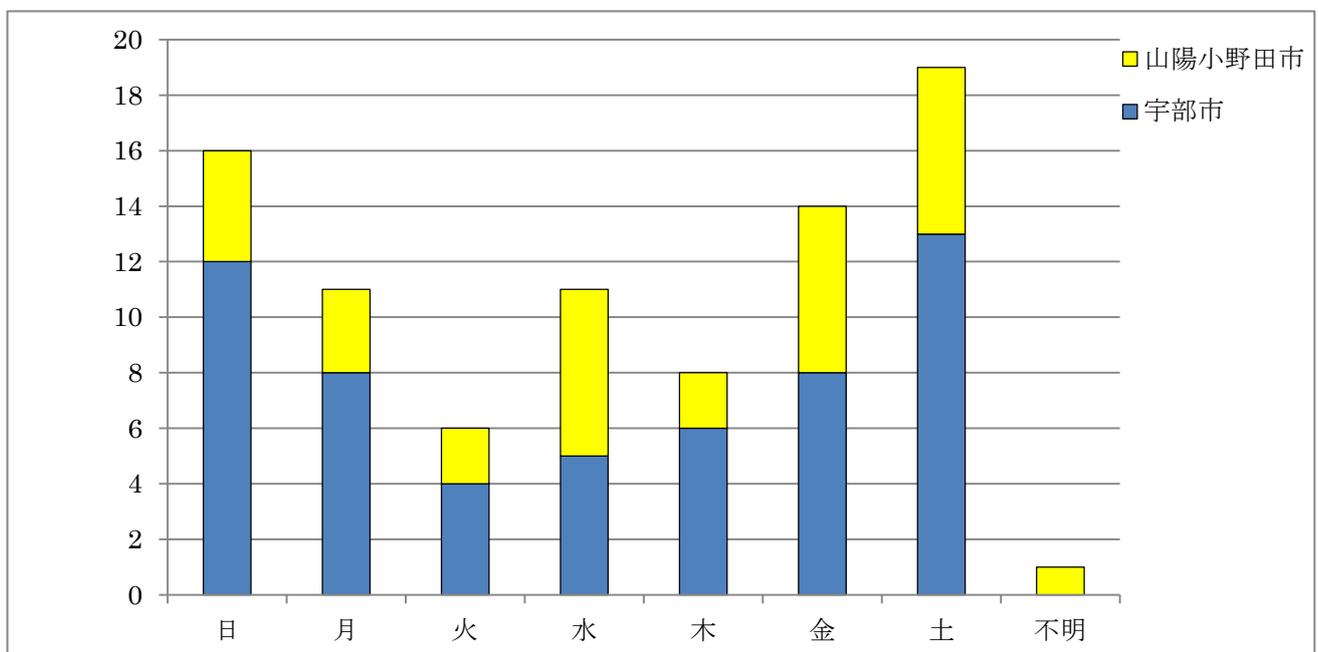
市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市	死 者	3					
負傷者		7					2	9
山陽小野田市	死 者						1	1
	負傷者	3	1					4
合 計	死 者	3					1	4
	負傷者	10	1				2	13

単位：人

(6) 曜日別火災発生状況

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日	2	3	2	1		2		1	2	1	2		16
月	1		1	1	2				3		1	2	11
火			1					2	1	2			6
水		2				1	1	4	1	1		1	11
木	1	1	1	1				1			1	2	8
金	2	1	4	2	1			1		1	2		14
土	2	4	3	2	1		3		2	2			19
不明					1								1
合計	8	11	12	7	5	3	4	9	9	7	6	5	86

単位：件

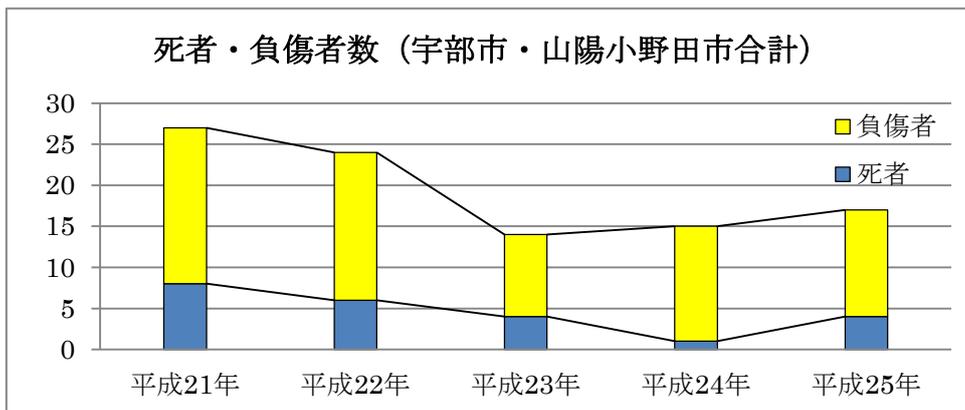
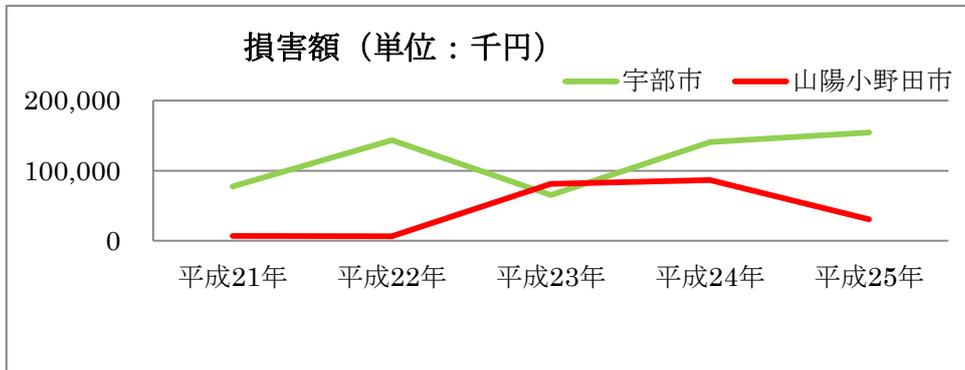
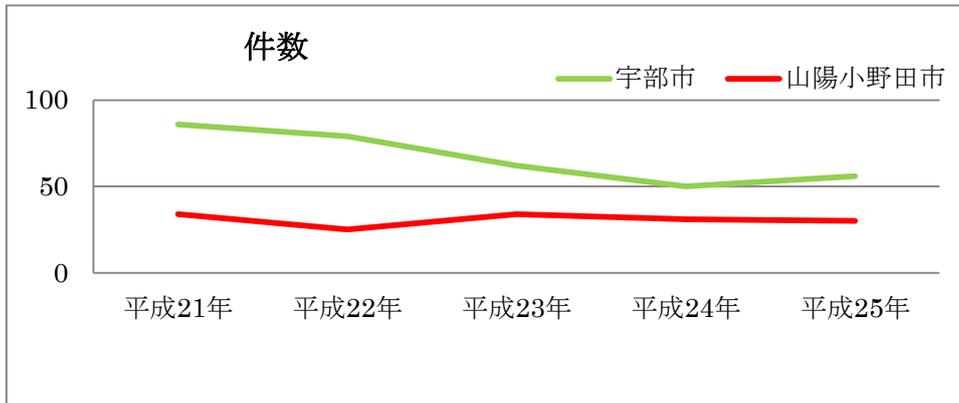


(7) 時間帯別火災発生状況

時間帯	件数・死傷者数 件数(件)	死傷者(人)	
		死者	負傷者
0～1時	3		1
1～2時	1		
2～3時	1		
3～4時	4		
4～5時	1		
5～6時	2		2
6～7時	2		
7～8時	1	1	
8～9時	1		1
9～10時	2	1	
10～11時	4		1
11～12時	5		
12～13時	9	1	2
13～14時	7		
14～15時	11		
15～16時	4		
16～17時	8		1
17～18時	2		
18～19時	1		
19～20時			
20～21時	6	1	1
21～22時	1		
22～23時	2		1
23～24時	7		3
不明	1		
合計	86	4	13

(8) 過去5年間の火災発生状況

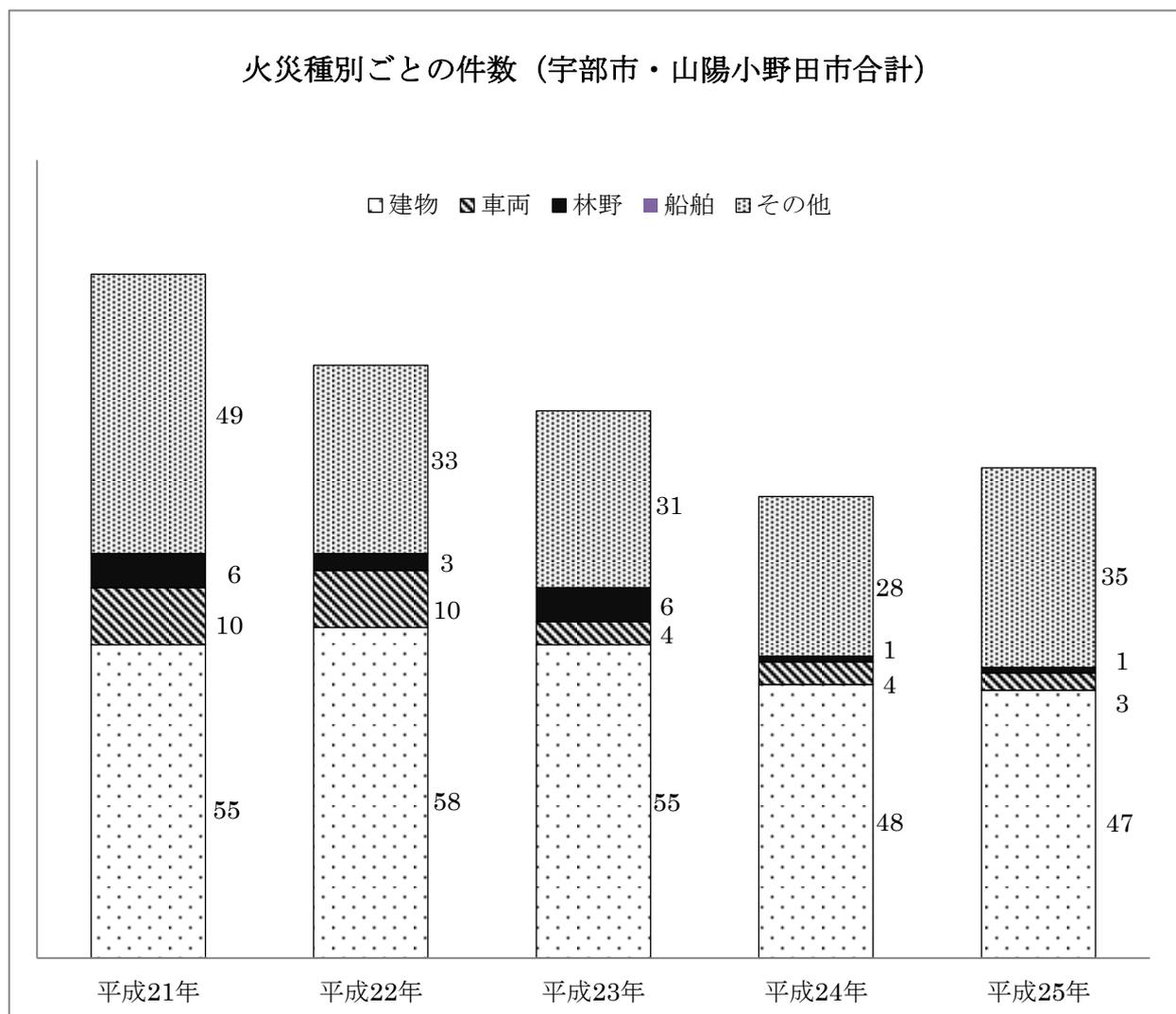
年別	項目		件数(件)		損害額(千円)		死傷者(人)	
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市		山陽小野田市	
					死者	負傷者	死者	負傷者
平成21年	86	34	77,323	7,229	5	15	3	4
平成22年	79	25	143,397	6,617	5	16	1	2
平成23年	62	34	65,354	81,113	1	5	3	5
平成24年	50	31	140,613	86,665	1	10		4
平成25年	56	30	154,324	30,471	3	9	1	4



(9) 過去5年間の火災種別件数

年別		種別	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	計	合計
平成21年	宇部市		36	8	3			39	86	120
	山陽小野田市		19	2	3			10	34	
平成22年	宇部市		48	5	2			24	79	104
	山陽小野田市		10	5	1			9	25	
平成23年	宇部市		38	2	6			16	62	96
	山陽小野田市		17	2				15	34	
平成24年	宇部市		34	3	1			12	50	81
	山陽小野田市		14	1				16	31	
平成25年	宇部市		31	1	1			23	56	86
	山陽小野田市		16	2				12	30	

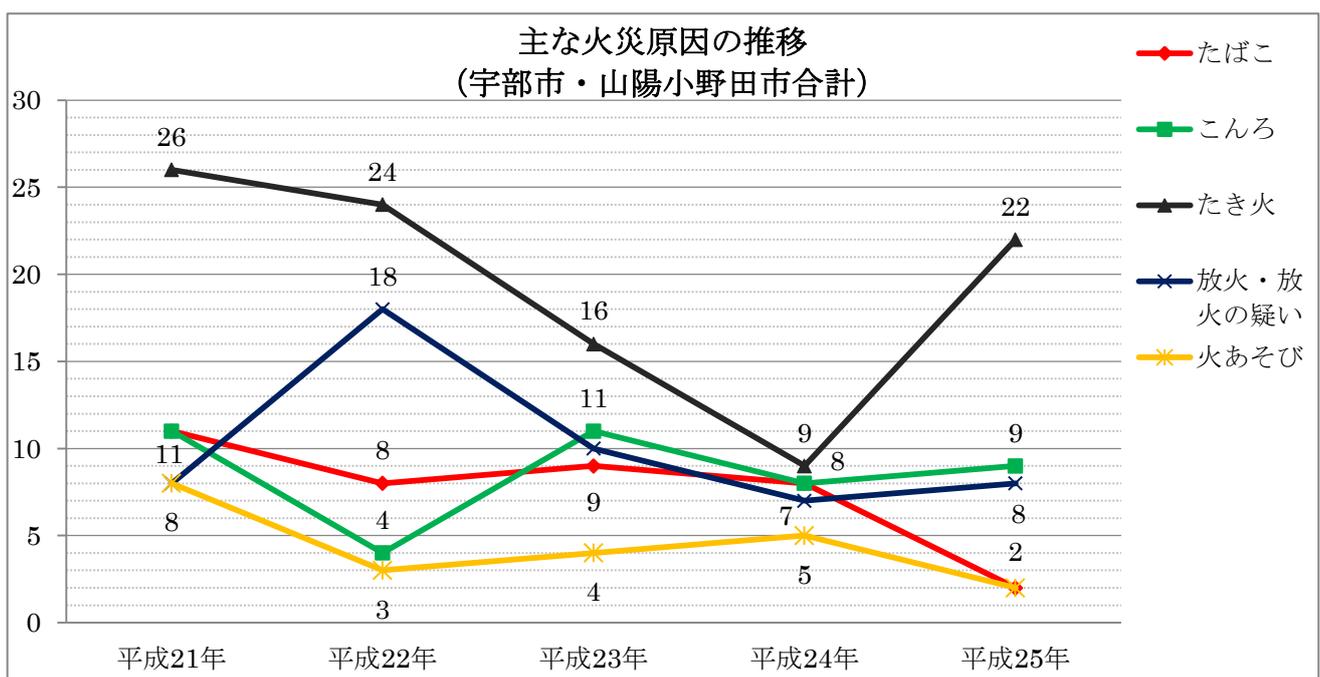
単位：件



(10) 過去5年間の火災原因別件数

年別 原因別	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
たばこ	11	8	9	8	2
こんろ	11	4	11	8	9
風呂かまど	1	1	1	1	
ストーブ	3	3	2	3	2
ボイラー					
電気機器	3	3	1	1	1
電灯等の配線		1	1	1	1
配線器具	3	3	1	1	2
火あそび	8	3	4	5	2
ライター等		3	1	4	1
たき火	26	24	16	9	22
溶接機・切断機	1	1	2	1	
灯火	1	1	4	3	2
放火	2	4	6	1	3
放火の疑い	6	14	4	6	5
その他	16	18	21	14	17
不明・調査中	28	13	12	15	17
合計	120	104	96	81	86

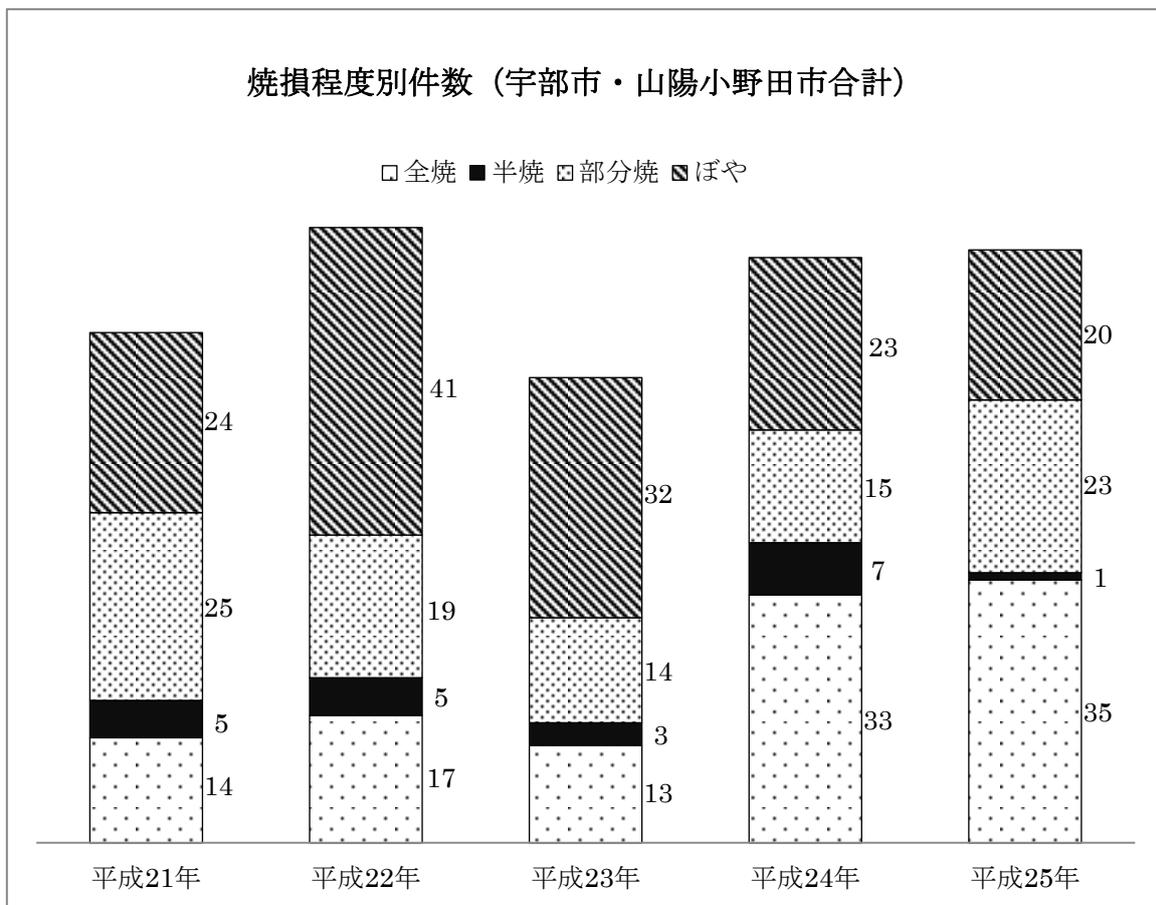
単位：件



(11) 過去5年間の焼損程度別件数

年別		焼損別	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	計	合 計
平成 21年	宇 部 市		8	4	18	17	47	68
	山陽小野田市		6	1	7	7	21	
平成 22年	宇 部 市		14	5	18	30	67	82
	山陽小野田市		3		1	11	15	
平成 23年	宇 部 市		6	2	8	22	38	62
	山陽小野田市		7	1	6	10	24	
平成 24年	宇 部 市		20	6	12	15	53	78
	山陽小野田市		13	1	3	8	25	
平成 25年	宇 部 市		21	1	19	15	56	79
	山陽小野田市		14		4	5	23	

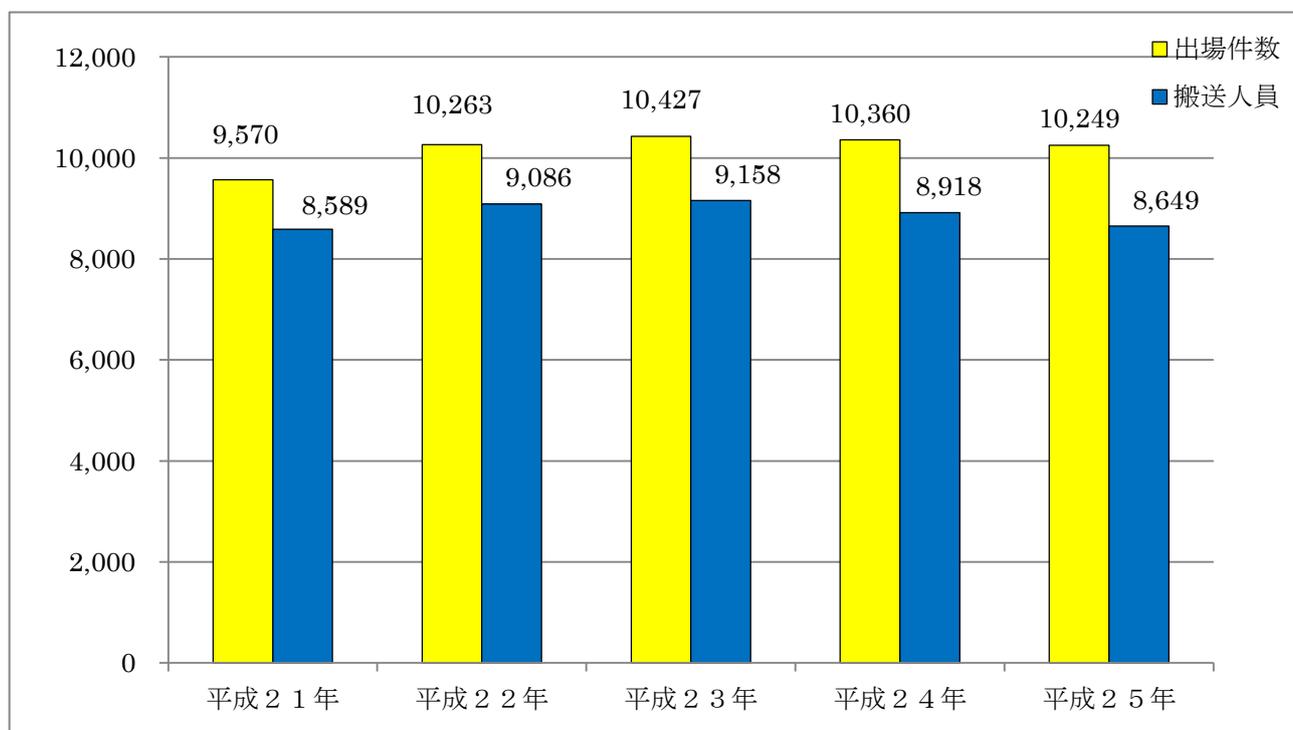
単位：件



6 救急

(1) 過去5年間の救急状況

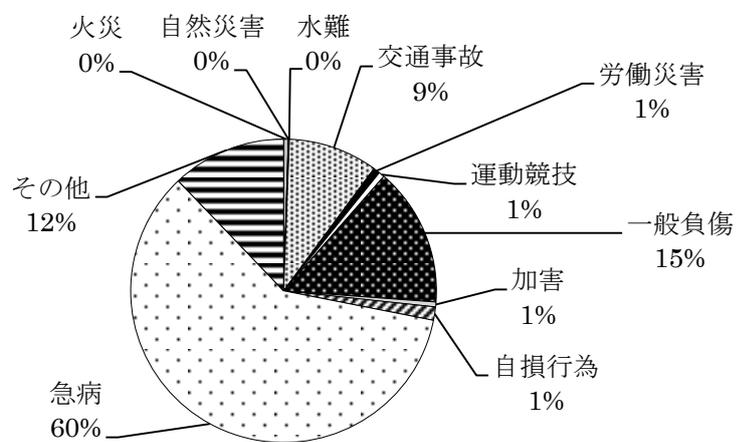
年別	区分	出場件数	搬送人員	1日平均 出場件数	1日平均 搬送人員
	平成21年	宇部市	6,823	6,061	18.7
山陽小野田市		2,747	2,528	7.5	6.9
合計		9,570	8,589	26.2	23.5
平成22年	宇部市	7,257	6,314	19.9	17.3
	山陽小野田市	3,006	2,772	8.2	7.6
	合計	10,263	9,086	28.1	24.9
平成23年	宇部市	7,256	6,273	19.9	17.2
	山陽小野田市	3,171	2,885	8.7	7.9
	合計	10,427	9,158	28.6	25.1
平成24年	宇部市	7,194	6,083	19.7	16.6
	山陽小野田市	3,166	2,835	8.6	7.7
	合計	10,360	8,918	28.3	24.3
平成25年	宇部市	7,269	6,009	19.9	16.5
	山陽小野田市	2,980	2,640	8.2	7.2
	合計	10,249	8,649	28.1	23.7



(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

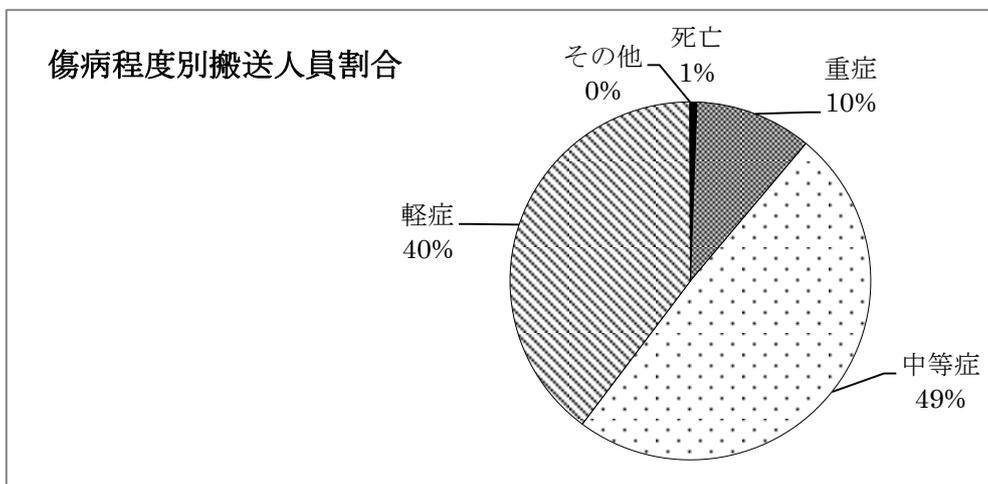
事故種別		市別		
		宇部市	山陽小野田市	合計
火災	出場件数	34	16	50
	搬送人員	7	3	10
自然災害	出場件数	3	2	5
	搬送人員	3	2	5
水難	出場件数	5	3	8
	搬送人員	2	1	3
交通事故	出場件数	715	255	970
	搬送人員	600	251	851
労働災害	出場件数	46	25	71
	搬送人員	46	26	72
運動競技	出場件数	40	23	63
	搬送人員	40	23	63
一般負傷	出場件数	1,089	426	1,515
	搬送人員	930	373	1,303
加害	出場件数	33	21	54
	搬送人員	24	11	35
自損行為	出場件数	105	41	146
	搬送人員	63	24	87
急病	出場件数	4,302	1,825	6,127
	搬送人員	3,665	1,595	5,260
その他	出場件数	897	343	1,240
	搬送人員	629	331	960
合計	出場件数	7,269	2,980	10,249
	搬送人員	6,009	2,640	8,649

事故種別ごとの件数割合



(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

事故種別		傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
火災	宇部市		2	2	3		7
	山陽小野田市			3			3
自然災害	宇部市				3		3
	山陽小野田市						2
水難	宇部市			1	1		2
	山陽小野田市		1				1
交通事故	宇部市	2	38	140	420		600
	山陽小野田市	1	11	68	170	1	251
労働災害	宇部市		6	23	17		46
	山陽小野田市		7	10	9		26
運動競技	宇部市		1	15	24		40
	山陽小野田市			7	16		23
一般負傷	宇部市	1	109	412	408		930
	山陽小野田市	1	16	180	176		373
加害	宇部市			7	17		24
	山陽小野田市			3	8		11
自損行為	宇部市	3	16	37	7		63
	山陽小野田市	1	9	8	6		24
急病	宇部市	16	318	1848	1483		3,665
	山陽小野田市	23	113	824	634	1	1,595
その他	宇部市	1	173	431	21	3	629
	山陽小野田市	1	88	232	10		331
合計	宇部市	23	663	2916	2404	3	6,009
	山陽小野田市	27	245	1,335	1,031	2	2,640
合計		50	908	4,251	3,435	5	8,649



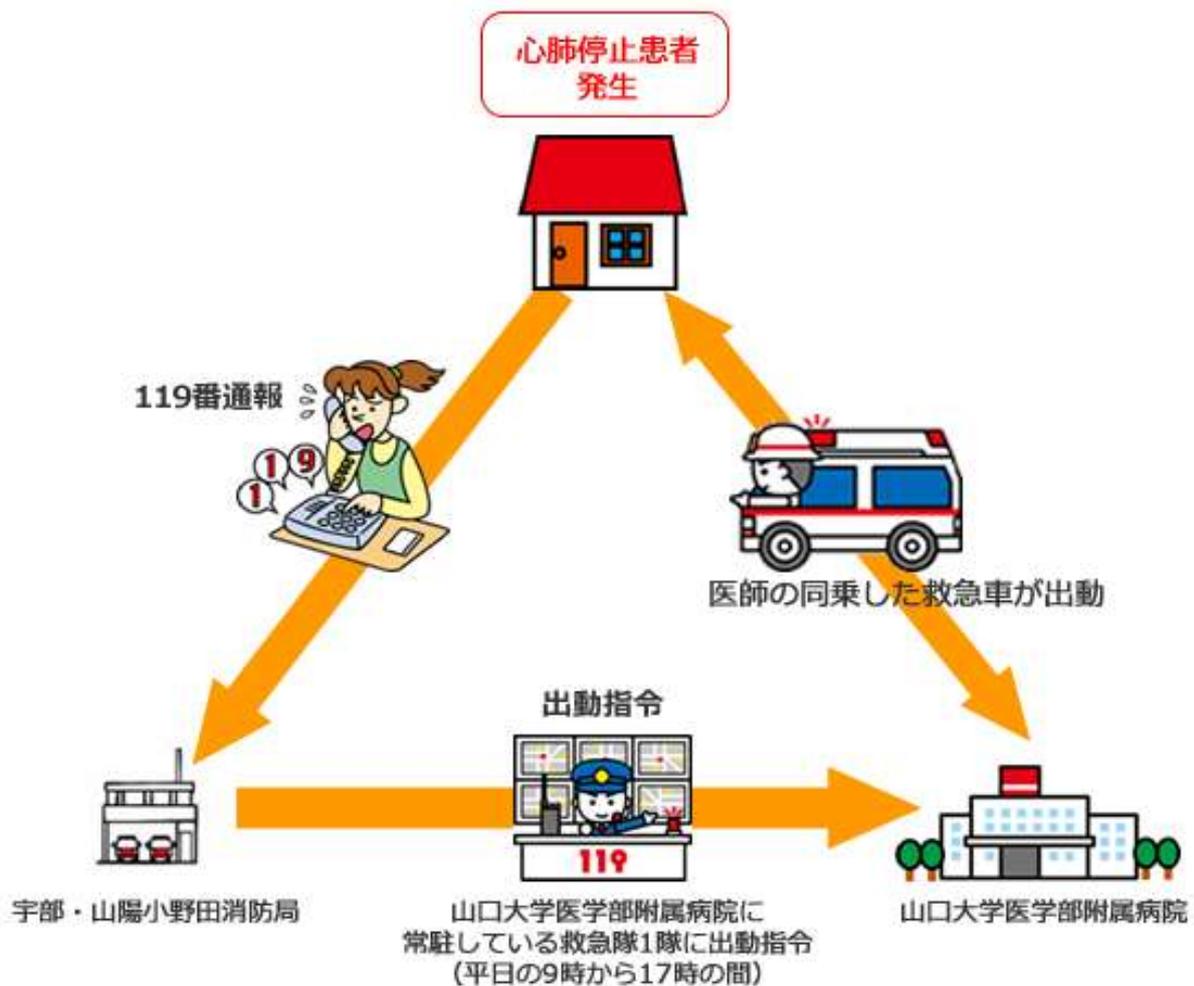
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び搬送人員

事故種別 区分	計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送
出場件数	105				6	1		4	1	10	23	1	59
搬送人員	46				6	1		4	1	10	23	1	

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

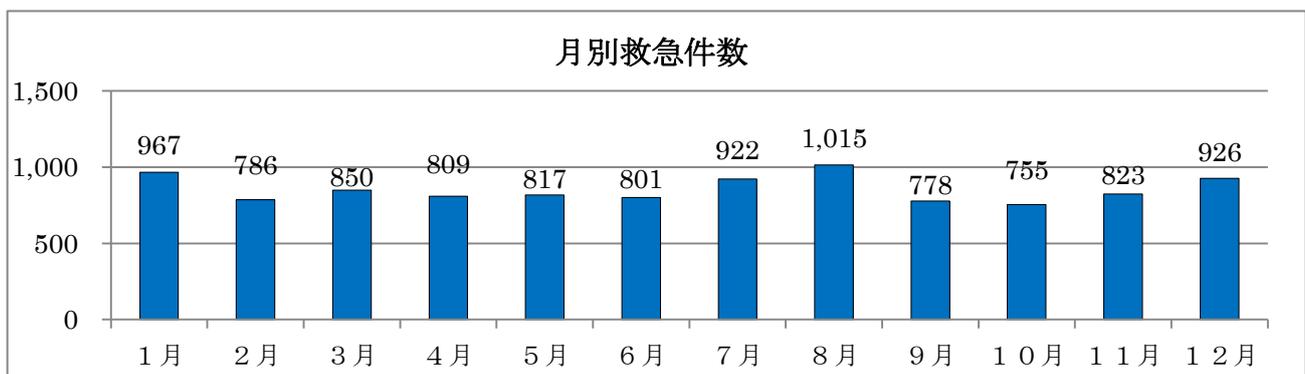
システム概要

救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容



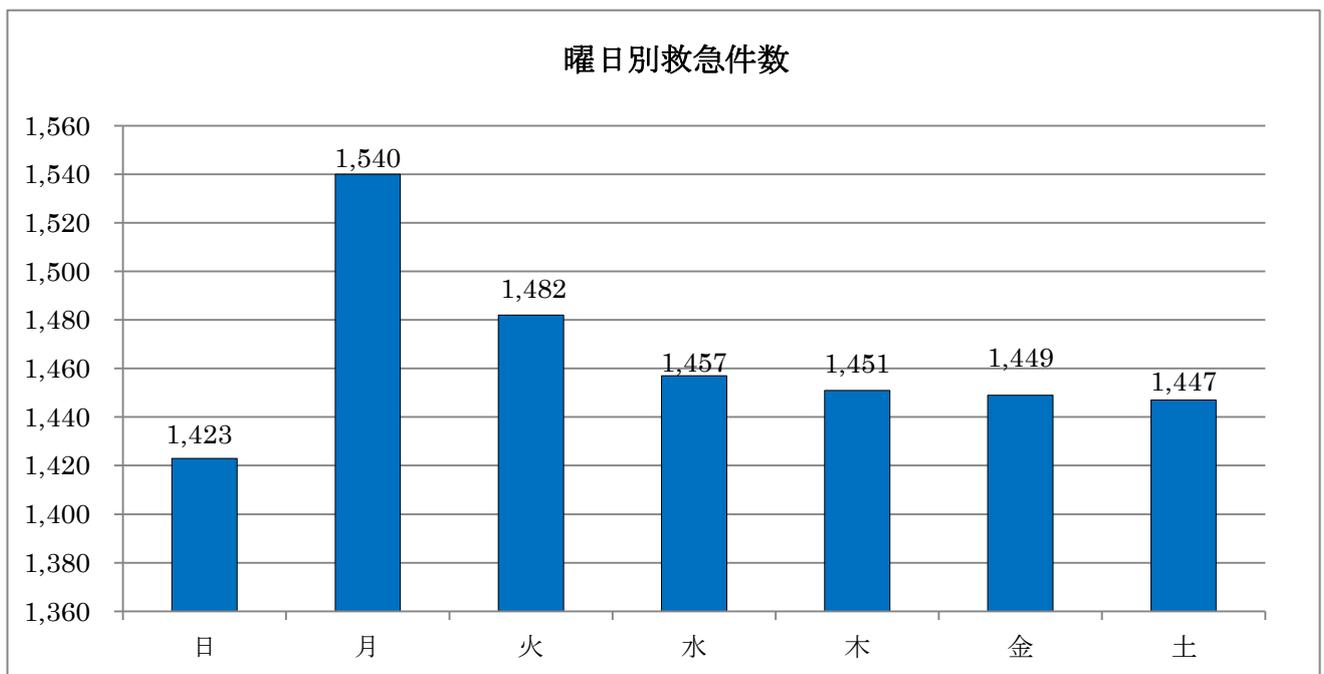
(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

事故種別 月別		計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1 月	件数	967	7		2	75	4	1	134	8	9	619	108
	人員	806			1	61	4	1	116	5	6	525	87
2 月	件数	786	7			66	6	3	126	5	6	472	95
	人員	640	3			54	8	3	104	1	4	393	70
3 月	件数	850	9		1	81	6	2	122	5	15	497	112
	人員	702	2		1	73	6	2	101	3	9	422	83
4 月	件数	809	3		1	72	6	3	115	4	11	492	102
	人員	690	1			62	6	3	96	4	5	428	85
5 月	件数	817	1		2	75	7	8	130	6	15	465	108
	人員	709			1	65	7	7	111	3	12	414	89
6 月	件数	801	2			90	5	11	124	1	15	464	89
	人員	688				86	4	12	106	1	9	403	67
7 月	件数	922	2	3		84	6	11	123	3	15	559	116
	人員	768		3		68	6	11	105	3	7	480	85
8 月	件数	1,015	1		1	102	10	7	128	10	14	626	116
	人員	867	1			89	10	7	109	7	11	543	90
9 月	件数	778	6		1	79	4	6	121	3	12	452	94
	人員	682	3			85	4	6	114	2	5	390	73
10 月	件数	755	6			71	7	1	121	1	10	442	96
	人員	626				60	7	1	102	1	4	375	76
11 月	件数	823	3	1		68	5	5	125	1	13	496	106
	人員	697		1		61	5	5	110	1	9	427	78
12 月	件数	926	3	1		107	5	5	146	7	11	543	98
	人員	774		1		87	5	5	129	4	6	460	77
合 計	件数	10,249	50	5	8	970	71	63	1,515	54	146	6,127	1,240
	人員	8,649	10	5	3	851	72	63	1,303	35	87	5,260	960



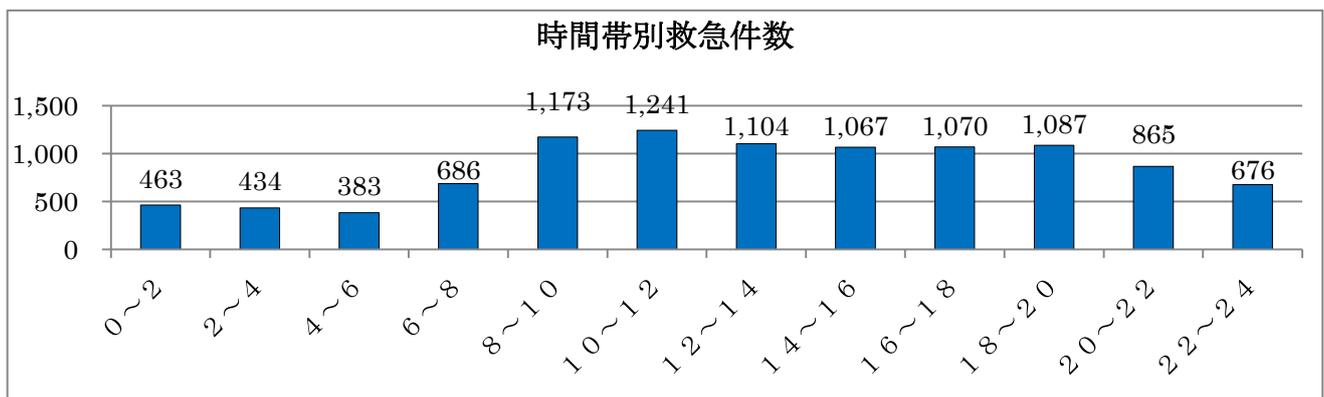
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

事故種別		計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
曜日別													
日	件数	1,423	9	3		132	6	21	233	6	17	882	114
	人員	1,200		3		124	5	20	200	2	14	752	80
月	件数	1,540	8	1	3	137	17	3	219	10	21	924	197
	人員	1,305	3	1	1	128	17	3	177	8	14	798	155
火	件数	1,482	4		1	139	9	6	213	7	17	870	216
	人員	1,248	1			117	9	6	189	5	10	743	168
水	件数	1,457	4			143	10	3	194	11	26	862	204
	人員	1,230	2			120	12	3	171	6	17	738	161
木	件数	1,451	5		2	143	14	3	191	6	24	878	185
	人員	1,200	1		1	118	14	3	165	5	11	743	139
金	件数	1,449	7	1	1	138	6	7	207	9	21	857	195
	人員	1,255	1	1		121	6	8	181	5	11	769	152
土	件数	1,447	13		1	138	9	20	258	5	20	854	129
	人員	1,211	2		1	123	9	20	220	4	10	717	105
合計	件数	10,249	50	5	8	970	71	63	1,515	54	146	6,127	1,240
	人員	8,649	10	5	3	851	72	63	1,303	35	87	5,260	960



(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

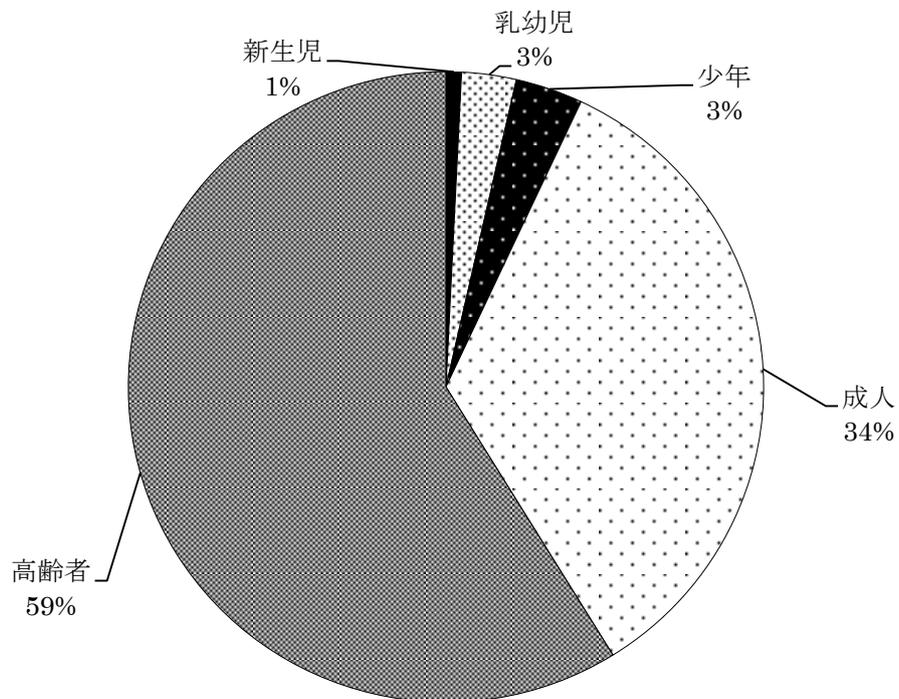
時間帯別	事故種別	計	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	そ
			災	災	難	事	災	競	負	害	損	病	他
0~2	件数	463	8			28	3		56	5	9	329	25
	人員	360	4			21	3		41	3	5	269	14
2~4	件数	434	3			14			62	9	12	308	26
	人員	346				14			48	6	7	253	18
4~6	件数	383	5			17	3		53		7	266	32
	人員	318	2			16	3		45		5	231	16
6~8	件数	686	3			81			83	1	6	477	35
	人員	560				65			71	1	2	400	21
8~10	件数	1,173	3	1	1	101	9	4	194	3	14	693	150
	人員	1,036	1	1		86	8	4	186	3	10	614	123
10~12	件数	1,241	6		2	118	16	18	180	3	13	640	245
	人員	1,061				100	18	18	159	1	7	552	206
12~14	件数	1,104	5	4	1	108	10	15	173	4	11	572	201
	人員	960	1	4	1	100	10	14	151	3	5	510	161
14~16	件数	1,067	4		3	130	14	9	151	3	21	559	173
	人員	899			1	120	14	10	128	1	11	491	123
16~18	件数	1,070	5			143	5	4	174	4	16	564	155
	人員	920	1			128	5	4	145	4	13	490	130
18~20	件数	1,087				127	6	5	189	5	17	660	78
	人員	947				112	6	5	162	2	12	579	69
20~22	件数	865	2		1	62	2	8	124	8	9	586	63
	人員	721			1	53	2	8	104	5	6	497	45
22~24	件数	676	6			41	3		76	9	11	473	57
	人員	521	1			36	3		63	6	4	374	34
合計	件数	10,249	50	5	8	970	71	63	1,515	54	146	6,127	1,240
	人員	8,649	10	5	3	851	72	63	1,303	35	87	5,260	960



(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児 (生後28日未満)	68				1			1				66
乳幼児 (7歳未満)	240				19			66	2		137	16
少年 (7歳～17歳)	297		1	1	95		32	45	1	4	99	19
成人 (18歳～64歳)	2,958	6		1	513	59	30	270	25	67	1,681	306
高齢者 (65歳以上)	5,086	4	4	1	223	13	1	921	7	16	3,343	553
合計	8,649	10	5	3	851	72	63	1303	35	87	5,260	960
高齢者 割合(%)	59	40	80	33	26	18	2	71	20	18	64	58

年齢区分別搬送人員割合



7 救助

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	16	16	3	1	1	2	17	17	5
	建物以外	1	1					1	1	
交 通 事 故		41	24	25	21	12	22	62	36	47
水 難 事 故		5	5	5	2	2	1	7	7	6
風 水 害 自 然 災 害										
機 械 による 事 故		5	2	2	2			7	2	2
建 物 等 による 事 故		12	10	14	6	3	4	18	13	18
ガ ス ・ 酸 欠 事 故		1	1	1	1			2	1	1
破 裂 事 故										
そ の 他 事 故		10	6	7	7	5	6	17	11	13
合 計		91	65	57	40	23	35	131	88	92

8 火災以外の出動

出動種別		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
風水害等の災害	回数						1	2			1			4
	人員						4	9			9			22
警防調査	回数			3		2	1	2			1		1	10
	人員			10		9	3	6			3		2	33
火災原因調査	回数	12	12	15	10	5	4	5	10	11	8	10	7	109
	人員	56	63	83	44	27	20	21	45	60	43	65	27	554
特別警戒	回数													
	人員													
捜索	回数			1	1								1	3
	人員			5	9								20	34
誤報等	回数	4	2			4	5	1	3		1	1	1	22
	人員	12	2			8	16	3	16		3	9	6	75
救急補助	回数	118	113	107	99	81	94	99	114	68	78	101	112	1,184
	人員	404	336	347	321	259	300	323	366	218	263	331	371	3,839
その他	回数	13	18	10	18	20	16	12	14	14	25	20	22	202
	人員	73	105	33	82	103	51	41	61	83	159	104	98	993
合計	回数	147	145	136	128	112	121	121	141	93	114	132	144	1,534
	人員	545	506	478	456	406	394	403	488	361	480	509	524	5,550

9 救急講習

区分 受講者別	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命 講習Ⅰ	83	1,457	146	51	878	88	134	2,335	234
普通救命 講習Ⅱ	29	611	62	1	22	3	30	633	65
上級救命 講習				3	72	9	3	72	9
応急手当 普及員講習 Ⅰ									
応急手当 指導員講習 Ⅰ	1	1	1	2	3	2	3	4	3
普通救命 講習Ⅰ (普及員)				1	10	1	1	10	1
その他講習	37	1,088	37	54	1,818	103	91	2,906	140
合 計	150	3,157	246	112	2,803	206	262	5,960	452

情報指令



宇部市渡辺翁記念会館

宇部市発展に大きく寄与した渡辺祐策の功績を記念して1937年（昭和12年）に建てられた宇部市が誇る昭和の名建築です。建築家・村野藤吾の設計による同館は、国の重要文化財に指定されました。（宇部市）

塚の川古墳

古墳時代の後期、6世紀末に築かれた古墳で、市内で唯一、墳丘・周濠・石室を持つ横穴式の円墳で、石室の規模が大きく、この地方を掌握した豪族の墓と考えられます。1981年（昭和59年）に市指定文化財に指定されました。（山陽小野田市）





高機能消防指令センター

電話による119番通報のほか、メールやFAXを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有することで、的確な現場活動を行うことができます。

消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。



高機能消防指令センター、消防救急デジタル無線設備 共に平成26年3月2日より運用を開始しました。

1 消防通信施設

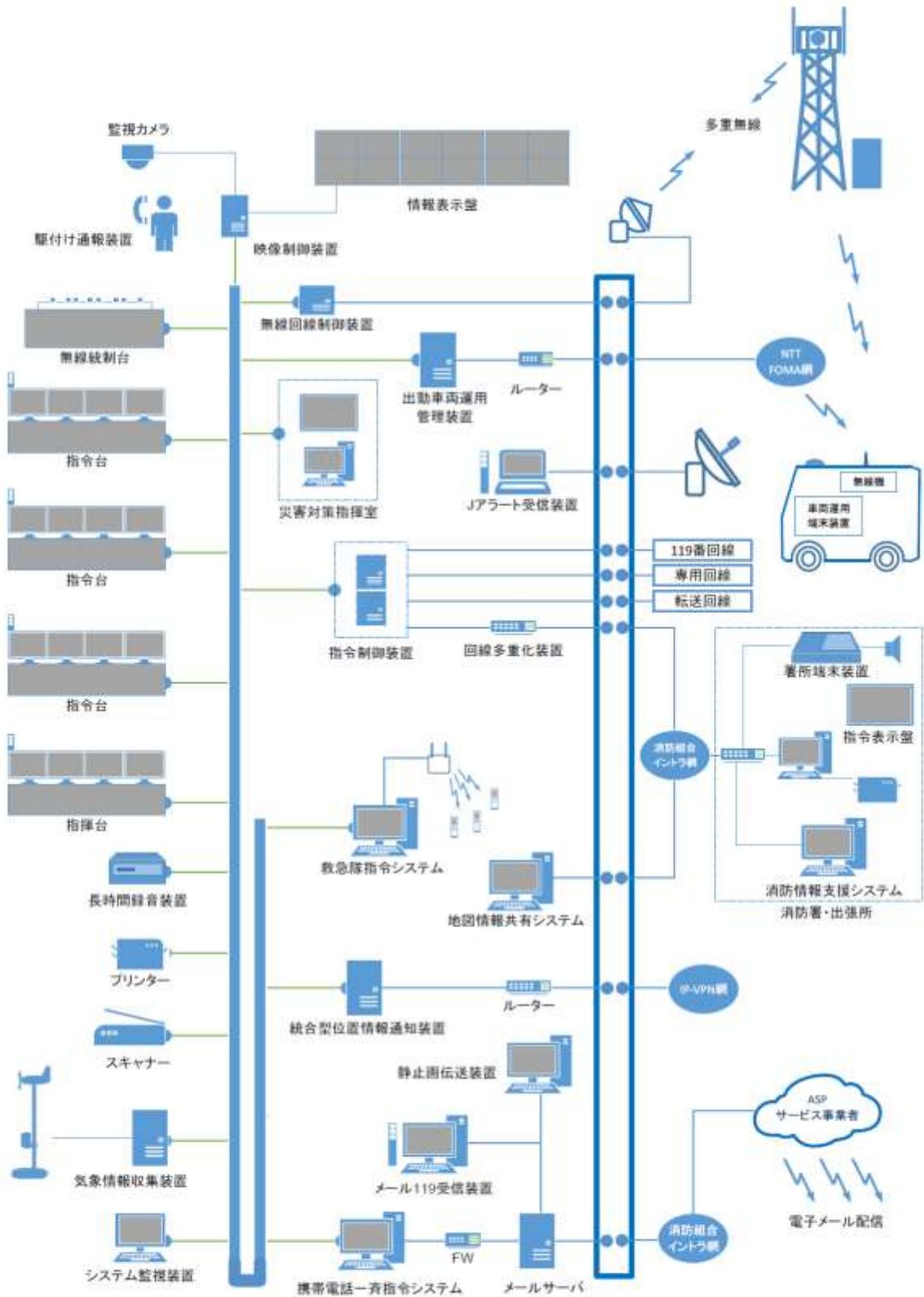
(1) 消防指令センター

機器名	数量	設置年月日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置 17. 静止画像伝送装置	一式	平成 26 年 1 月更新
山口県広域災害救急医療情報システム	一式	平成 21 年 7 月更新
宇部市緊急通報システム	一式	平成 21 年 11 月更新
宇部市防災行政無線	一式	昭和 63 年 10 月
メール 119	一式	平成 26 年 1 月更新
FAX 119	一式	平成 26 年 1 月更新
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	平成 20 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

回線 所属	119 回線 (IP 含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消防局 中央署	5	2		2	8	4	3	1	1
東部			1		1	1			
西署			1		2	1			
北部			1		2	1			
楠			1		1	1			
小野田署			1		3	1			
山陽署			1		2	1			
埴生			1		1	1			
合計	5	2	8	2	16	11	3	1	1

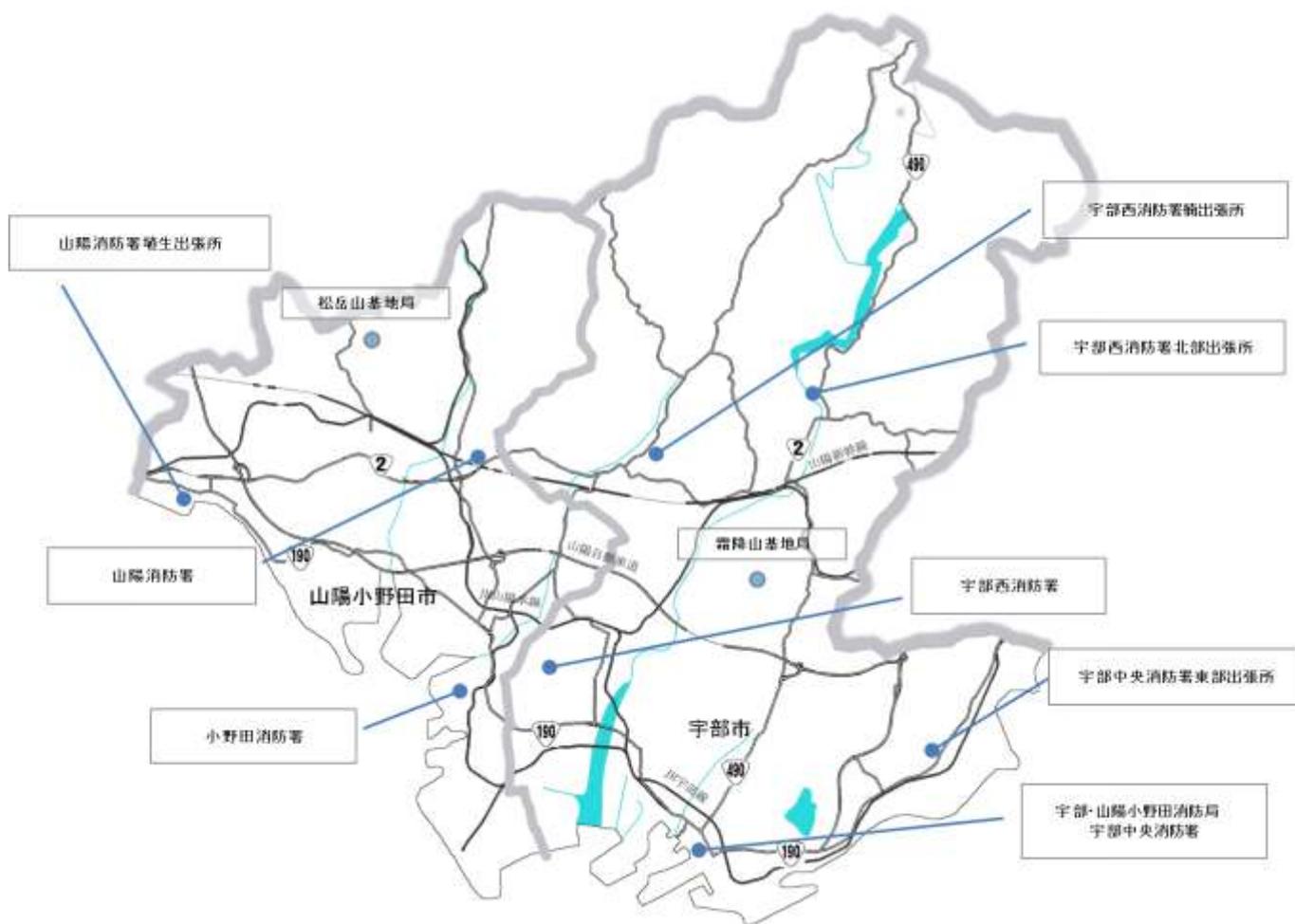
(3) システム構成図



(4) 自家用発電機

所属	出力	設置年月日
消 防 局	100KVA	平成 19 年 2 月
東 部 出 張 所	9.9KVA	平成 24 年 3 月
西 消 防 署	9.9KVA	平成 22 年 6 月
北 部 出 張 所	9.8KVA	平成 26 年 1 月
楠 出 張 所	10KVA	平成 16 年 11 月
小 野 田 署	100KVA	平成 11 年 4 月
山 陽 署	35KVA	平成 25 年 3 月
埴 生 出 張 所	9.8KVA	平成 26 年 1 月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成 26 年 1 月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成 26 年 1 月

(5) 無線局



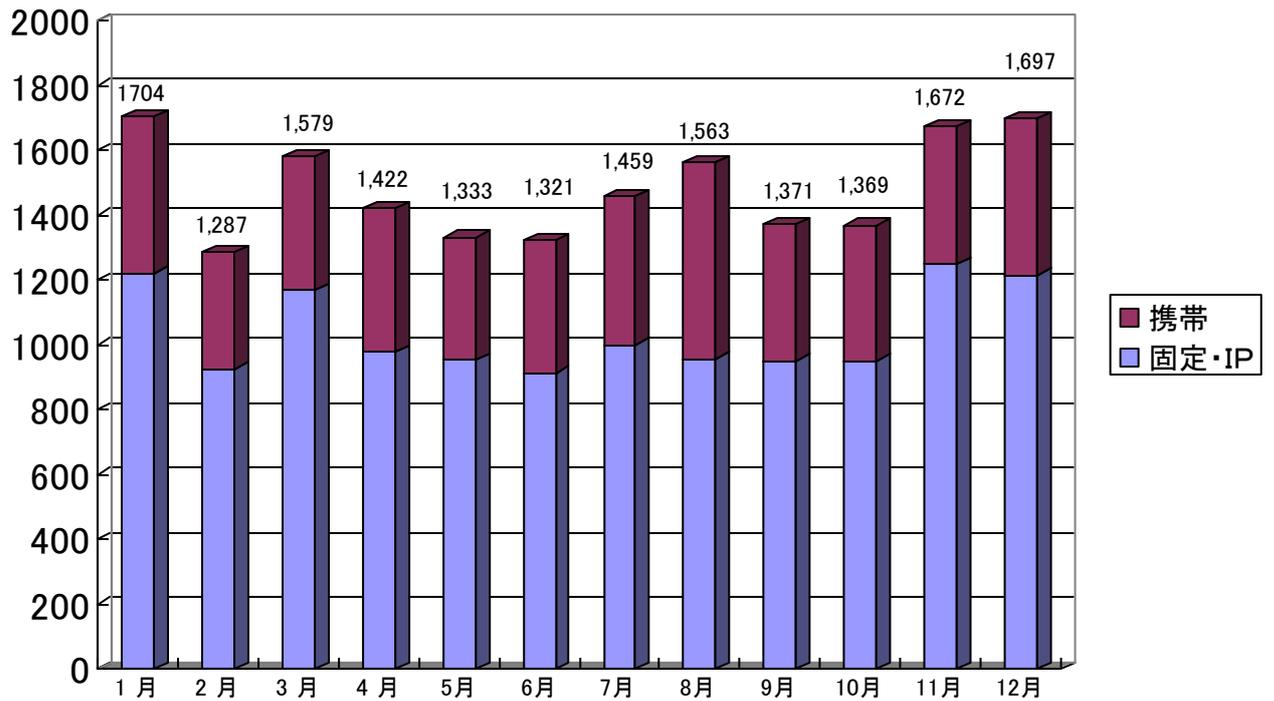
		消防局	霧降山	松岳山	中央	東部	西署	北部	楠	小野田	山陽	植生	合計
基	地 局	1	1	1									3
移 動 局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車載型	8			18	4	8	4	4	18	8	3	75
	携帯型	7			16	7	12	7	7	12	12	5	85
	可搬型				1					1			2

(6) 統計

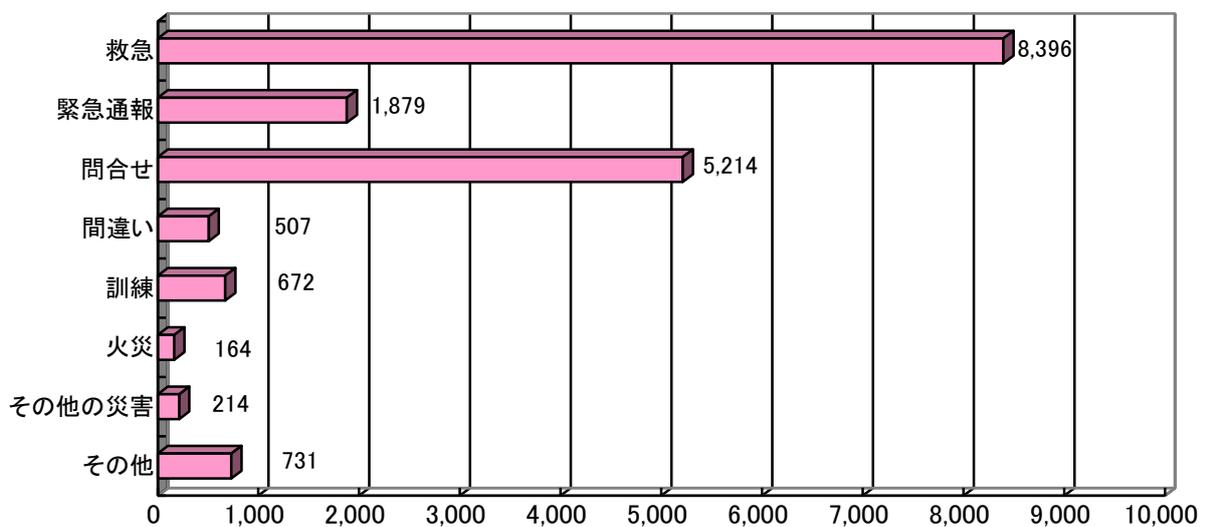
ア 119回線着信件数～固定 (IP 含む)・携帯

月別着信件数

合計 17,777 件



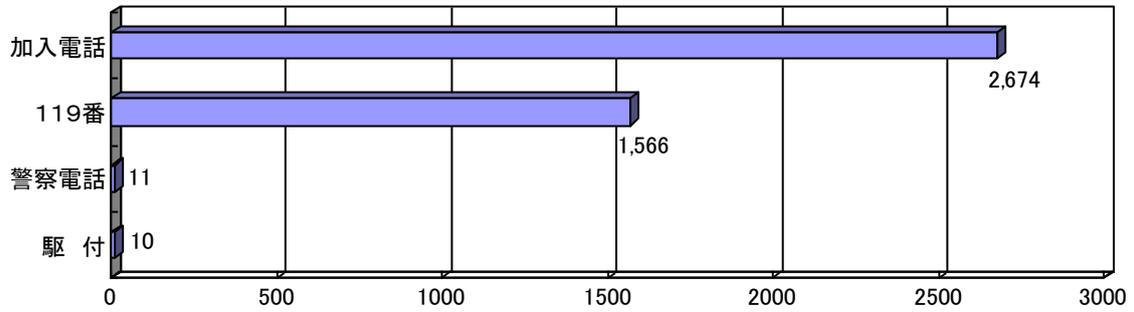
種別毎着信件数



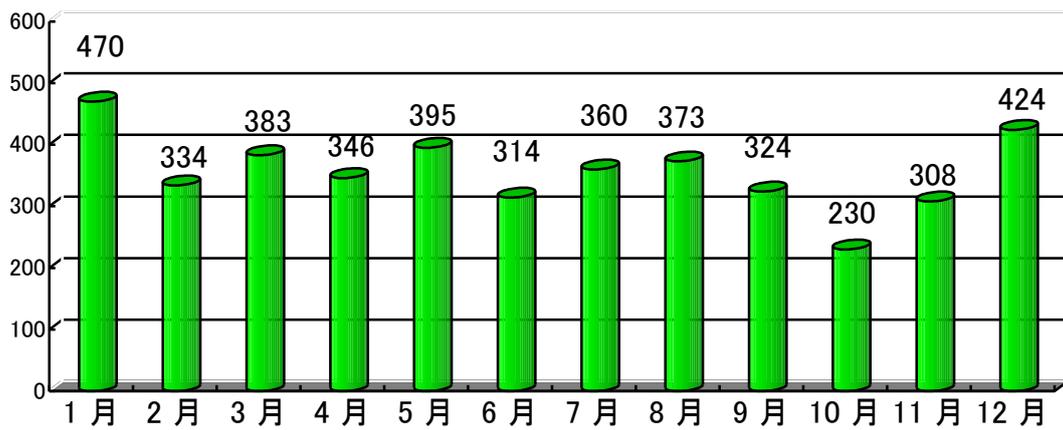
イ 病院紹介件数

覚知別紹介件数

合計 4,261 件



月別紹介件数



消 防 団



楠こもれびの郷

温泉施設、農産物直売所、地元食材にこだわった農家レストラン、研修・体験ができる農園からなり複合施設で、天然温泉は源泉掛け流し。浴室は総ひのき作りで、木の香りに包まれたいやしの時間が過ごせます。(宇部市)

お祝い夢花火

市民の希望や夢を乗せて夜空に大輪の花を咲かせます。

晩秋の澄みきった夜空の花火が、海面に映り込む景色は得も言われぬ美しさがあります。(山陽小野田市)





宇部市消防団 消防操法大会

本大会は、山口県大会の予選を兼ねて毎年8月に開催します。

応急操法と基本操法の競技種目において安全・確実・迅速をモットーに、消防技術の練磨に励んでいます。

山口県大会においても、例年上位入賞すると共に、消防団をPRし“防火防災”を図っています。



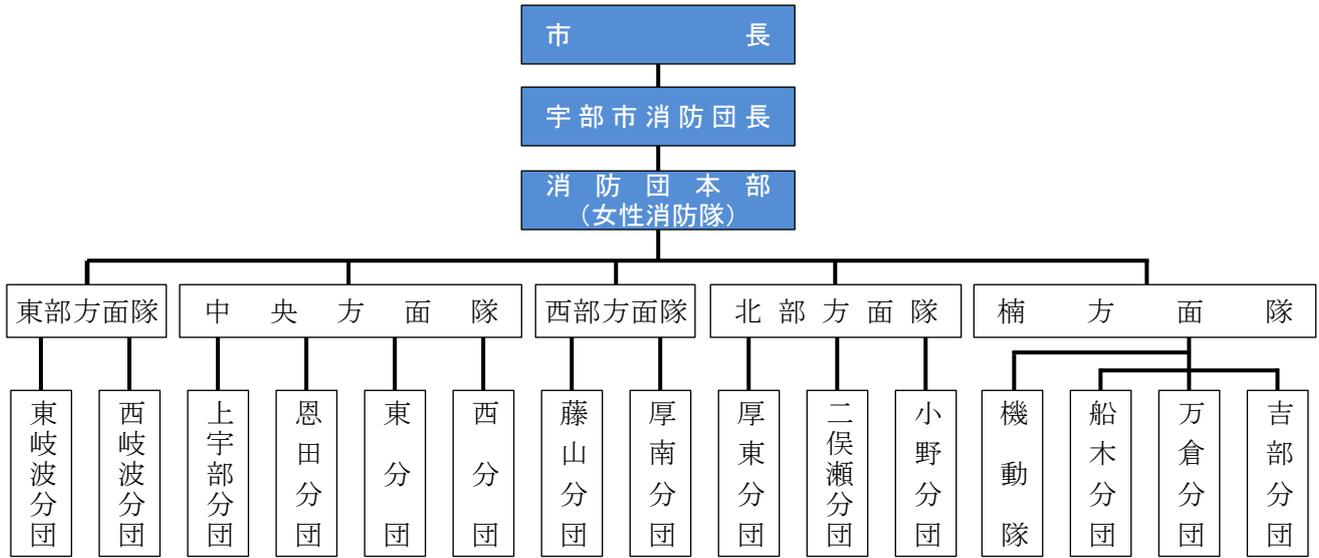
山陽小野田市消防団 消防出初式

消防団員・職員の士気の高揚と団結の強化を図るとともに、市民の防火意識の啓発することを目的に、山陽小野田市民館及びその周辺にて観閲行進、木遣・はしご乗り披露、腕用ポンプ・鈴割り演技等を行いました。



1 消防団組織系統図

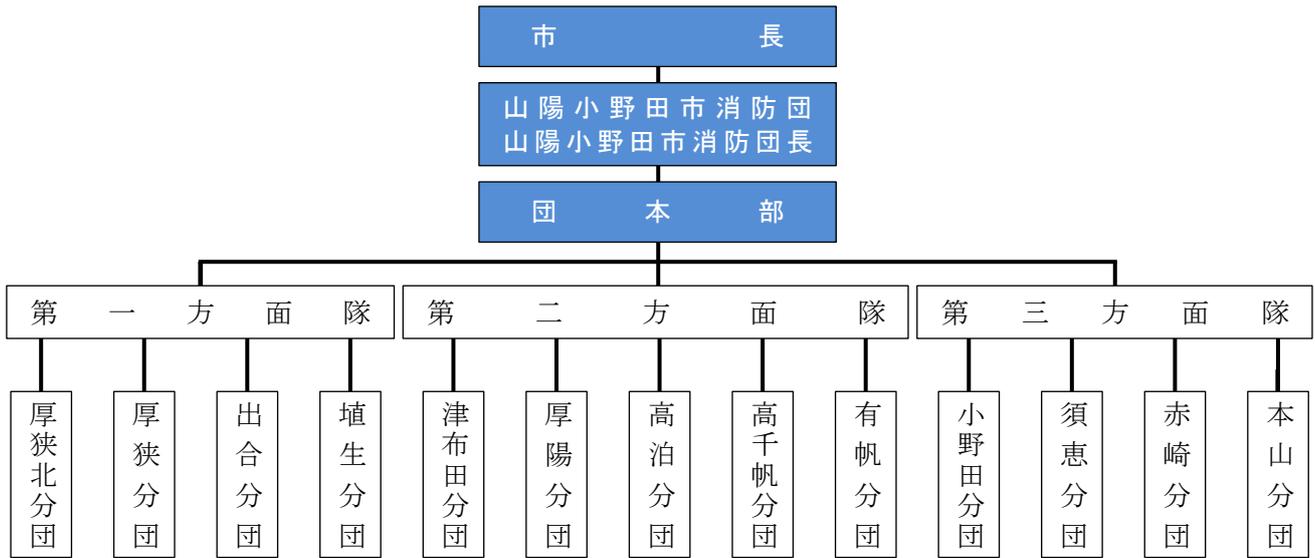
(1) 宇部市消防団



[単位：人]

消防団員	所 属	職 階 級																合 計	
		消防団本部	東 部 方 面 隊			中 央 方 面 隊				西 部 方 面 隊		北 部 方 面 隊			楠 方 面 隊				
定 数	職 階 級	女性消防隊	東岐波分団	西岐波分団	上宇部分団	恩田分団	東分団	西分団	藤山分団	厚南分団	厚東分団	二俣瀬分団	小野分団	機動隊	船木分団	万倉分団	吉部分団	合 計	
1	団 長	1																	1
5	統 括 副 団 長 副 本 部 長	5	◀ 副団長3人：東部・中央方面隊担当1人／西部・北部方面隊担当1人／楠方面隊担当1人 ▶																5
4	副 本 部 長 機 動 隊 長	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19
	副 分 団 長 機 動 隊 副 長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
5	部 長	5	1	5	5	3	2	3	3	2	4	3	3	5	5	3	2	2	56
	班 長		2	10	13	5	4	5	5	4	16	8	8	10	2	10	8	7	117
	団 員		17	46	52	27	18	20	20	19	50	25	27	58	11	40	38	39	507
	◀ 合 計 ▶	15	20	63	72	37	26	30	30	27	72	38	40	75	20	55	50	50	720
	◀ 本 部 / 方 面 隊 合 計 ▶	35	135			123				99		153			175				720
実 員 数	平成26年4月1日現在	32	19	62	65	35	26	29	26	27	72	32	35	72	18	47	30	43	651

(2) 山陽小野田市消防団



[単位：人]

消防団員	所属 職階級	団本部	第一方面隊				第二方面隊					第三方面隊				合計	
			厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団		
定数	団長	1															1
表	方面隊長 (副団長)	3	1(注)				1(注)					1(注)				3	
職階級別	本部長 または分団長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	副本部長 または副分団長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	部長	1	4	4	2	5	2	2	2	2	2	3	2	3	2	36	
	班長	2	7	7	3	8	3	3	3	3	3	5	3	5	3	58	
	団員	18	42	42	19	45	19	19	19	19	19	30	19	30	19	359	
	合計	27	55	55	26	60	26	26	26	26	26	40	26	40	26	485	
	実員数	本部/分団 平成26年4月1日現在	20 (15)	50	57	26	52	24	26	21	24	23	21	21	37	20	422 (15)

(注) 方面隊長は団本部に所属、また () 内は女性消防団員の内数

(2) 山陽小野田市消防団



3 消防団員「階級別」年齢

【宇部市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							2	2
20 歳以上～25 歳未満							17	17
25 歳以上～30 歳未満							27	27
30 歳以上～35 歳未満						1	51	52
35 歳以上～40 歳未満						3	96	99
40 歳以上～45 歳未満					1	13	87	101
45 歳以上～50 歳未満					11	21	63	95
50 歳以上～55 歳未満		1	2	1	8	16	45	73
55 歳以上～60 歳未満		1	5	4	10	38	28	86
60 歳以上～65 歳未満		1	7	7	15	16	21	67
65 歳以上～70 歳未満	1	2	5	3	8	6	7	32
70 歳以上								0
合 計	1	5	19	15	53	114	444	651
平 均	67	63	60	59	57	53	42	46

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満								0
20 歳以上～25 歳未満							20	20
25 歳以上～30 歳未満							28	28
30 歳以上～35 歳未満							49	49
35 歳以上～40 歳未満							61	61
40 歳以上～45 歳未満						10	75	85
45 歳以上～50 歳未満					1	7	27	35
50 歳以上～55 歳未満					5	12	14	31
55 歳以上～60 歳未満			1	3	12	20	19	55
60 歳以上～65 歳未満			9	6	13	7	6	41
65 歳以上～70 歳未満		2	3	4	4	1		14
70 歳以上	1	1	1					3
合 計	1	3	14	13	35	57	299	422
平 均	71	71	64	62	57	53	39	45

4 消防団員「階級別」勤続年数

【宇部市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満						1	151	152
5年以上～10年未満						4	98	102
10年以上～15年未満					1	15	76	92
15年以上～20年未満			1		8	20	57	86
20年以上～25年未満			2	1	10	32	36	81
25年以上～30年未満		2	3	6	19	25	16	71
30年以上～35年未満		1	7	7	8	14	5	42
35年以上～40年未満		2	2	1	5	2	4	16
40年以上～45年未満			4			1	1	6
45年以上	1				2			3
合計	1	5	19	15	53	114	444	651
平均	46	33	28	27	27	22	10	15

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							89	89
5年以上～10年未満							80	80
10年以上～15年未満						6	60	66
15年以上～20年未満					3	9	39	51
20年以上～25年未満		1		2	5	17	19	44
25年以上～30年未満				1	8	10	8	27
30年以上～35年未満			4	6	10	8	2	30
35年以上～40年未満		2	7	1	4	5	2	21
40年以上～45年未満	1		3	2	5	2		13
45年以上				1				1
合計	1	3	14	13	35	57	299	422
平均	40	32	37	33	30	24	9	15

5 消防団員「年報酬」及び「費用弁償」

【宇部市消防団】

年 報 酬

[単位:円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

費 用 弁 償

[単位:円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練	講 習
7,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

[単位:円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
金 額	81,000	67,500	49,000	44,000	35,500	35,000	34,500

費 用 弁 償

[単位:円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓練その他の公務	器具手入れ
6,500	5,300	1,200

6 消防団「災害出動」状況

【宇部市消防団】

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員(人)
消 防 団 本 部	21	76
東 岐 波 分 団	3	30
西 岐 波 分 団	5	32
上 宇 部 分 団	5	37
恩 田 分 団	1	10
東 分 団	2	31
西 分 団	2	27
藤 山 分 団	1	13
厚 南 分 団	0	0
厚 東 分 団	7	42
二 俣 瀬 分 団	5	22
小 野 分 団	2	14
機 動 隊	3	25
船 木 分 団	1	21
万 倉 分 団	1	14
吉 部 分 団	1	11
合 計	60	405

【山陽小野田市消防団】

分 団 名	出動件数(件)	出動人員(人)
団 本 部	0	0
厚 狭 北 分 団	2	4
厚 狭 分 団	0	0
出 合 分 団	1	9
埴 生 分 団	0	0
津 布 田 分 団	0	0
厚 陽 分 団	0	0
高 泊 分 団	0	0
高 千 帆 分 団	1	10
有 帆 分 団	1	8
小 野 田 分 団	0	0
須 恵 分 団	0	0
赤 崎 分 団	0	0
本 山 分 団	0	0
合 計	5	31

7 消防団「車両」及び「機械器具」

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫		消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)
消 防 団 本 部					1
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	花 園	1		
		古 殿		1	1
		丸 尾		1	1
		岐 波 浦		1	1
		前 田		1	1
	西 岐 波 分 団	白 土	1		1
		住 吉	1		
		山 村		1	1
片 倉			1	1	
中 央 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		1
		開		1	1
	恩 田 分 団	1			
	東 分 団	1		1	
	西 分 団	1		1	
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団	1		1	
	厚 南 分 団	西 宇 部	1		1
		妻 崎	1		
		中 野		1	1
		東 割		1	1
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	1		1
		駅 前		1	1
		広 瀬		1	1
	二 俣 瀬 分 団	木 田	1		1
		車 地		1	1
		上 山 中		1	1
		善 和		1	1
	小 野 分 団	下 小 野	1		
		上 小 野		1	1
		市 小 野		1	1
		楡 小 野		1	1
		岩 川		1	1
臼 木			1	1	
大 山		1	1		

所 属 / 機 庫		消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)	
楠 方 面 隊	機 動 隊	1		2	1	
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下 田 町 (1)		1	1	
		下 田 町 (2)				
	万 倉 分 団	新 川		1	1	
		栄 町		1	1	
		沼 田 ヶ 原		1	1	
	吉 部 分 団	土 井				
		中 市		1	1	
		藤 ヶ 瀬				
	荒 滝		1	1		
合 計		14 台	27 台	37 台	2 台	

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫		消 防 ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両
団 本 部				2	1
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高 千 帆 分 団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13 台	0 台	15 台	1 台

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

所属 / 機庫		車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別 / 製作所	購入 年月	
東部方面隊	東岐波分団	花園	日産 BD-1	3,950	7	A-2 モリタ	S59. 11
	西岐波分団	白土	日野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22. 2
		住吉	日産 BD-1	3,950	7	A-2 モリタ	S60. 12
中央方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉谷	H14. 11
	恩田分団		日産 CD-1	4,210	8	A-2 モリタ	H 4. 12
	東分団		日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H26. 2
	西分団		日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23. 12
西部方面隊	藤山分団		いすゞ CD-1	4,330	8	A-2 吉谷	H 7. 3
	厚南分団	西宇部	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23. 1
		妻崎	日産 BD-1	4,160	7	A-2 モリタ	H 2. 1
北部方面隊	厚東分団	棚井	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8. 3
	二俣瀬分団	木田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8. 12
	小野分団	下小野	日産 BD-1	4,160	7	A-2 GMいちほら	H 2. 9
楠方面隊	機動隊		日野 CD-1	4,890	8	A-2 吉谷	H12. 12

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別 / 製作所	購入 年月
第1方面隊	厚狭北分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H20. 12
	厚狭分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
	出合分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20. 2
	埴生分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
第2方面隊	津布田分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
	厚陽分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20. 2
	高泊分団	いすゞ CD-1	4,570	7	A-2 吉谷	H13. 3
	高千帆分団	日産 CD-1	4,214	8	A-2 日本ドライヴメカ	H 7. 3
	有帆分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19. 3
第3方面隊	小野田分団	いすゞ CD-1	4,334	8	A-2 吉谷	H 6. 3
	須恵分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22. 3
	赤崎分団	日産 CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15. 3
	本山分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H20. 12

(3) 小型動力ポンプ積載車

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫			車 名 / 型 式		排 気 量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	購 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	日 産	L - BF22 改	1,590	6	S63.10
		丸 尾	ダイハツ	EBD - S331W	650	4	H20.12
		岐 波 浦	ダイハツ	V - S110W	650	4	H10.11
		前 田	ダイハツ	V - S110P 改	650	4	H 7. 3
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8. 3
		片 倉	ダイハツ	GD-S210V 改	650	4	H12. 3
中央方面隊	上宇部分団	開	日 産	KG - SR8F23	3,150	6	H10. 3
西部方面隊	厚南分団	中 野	日 産	T-SJ2F23 改	1,621	6	H 5.12
		東 割	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8. 3
北部方面隊	厚東分団	駅 前	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H 9. 9
		広 瀬	ダイハツ	GD-S210V 改	650	4	H11.12
	二俣瀬分団	車 地	いすゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22. 3
		上 山 中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25. 2
		善 和	ダイハツ	V-S110P	650	4	H 9.10
	小野分団	上 小 野	ダイハツ	V-S110P 改	650	4	H 8. 2
		市 小 野	日 産	L-BF22 改	1,590	6	H 1.12
		檢 小 野	日 産	ZD30	2,950	6	H20. 2
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14. 2
		臼 木	ダイハツ	GD-S210V 改	650	4	H11.12
		大 山	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25. 2
	楠方面隊	船木分団	綿屋町	ダイハツ	LE-S330W	650	4
下田町(1)			ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18. 2
新 川			ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17. 3
万倉分団		栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21.12
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17. 3
吉部分団		中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21.12
		荒 滝	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17. 3

(4) 小型動力ポンプ

【 宇部市消防団 】

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	購 入 年 月	
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 2
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	B-2	H20. 12
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	B-3	H10. 11
		前 田	トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 8
	西岐波分団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22. 2
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8. 2
片 倉		ラビット	一段タービン	B-3	H14. 2	
中央方面隊	上宇部分団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14. 11
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	H20. 1
	東 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H26. 2	
	西 分 団	ラビット	一段タービン	B-2	H23. 12	
西部方面隊	藤 山 分 団		トーハツ	一段タービン	B-3	H 7. 3
	厚南分団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23. 1
		中 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 2
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8. 2
北部方面隊	厚東分団	棚 井	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 3
		駅 前	トーハツ	一段タービン	B-2	H 9. 9
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3. 11
	二俣瀬分団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 12
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22. 3
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25. 2
		善 和	シバウラ	一段タービン	B-3	H10. 10
	小野分団	上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 7. 2
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3. 11
		楡 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20. 2
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H 4. 12
		臼 木	ラビット	一段タービン	B-3	H 8. 2
		大 山	トーハツ	一段タービン	B-2	H25. 2
楠方面隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2	H18. 7
			トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 12
	船木分団	綿屋町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 3
		下田町(1)	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 3
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 3
	万倉分団	栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21. 12
		沼田ヶ原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 12
	吉部分団	中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21. 12
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20. 12

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	購 入 年 月
団 本 部		トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
		トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 2
第 1 方面隊	厚狭北分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 2
	厚狭分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
	出合分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
	埴生分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
第 2 方面隊	津布田分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10. 2
	厚陽分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H11. 3
	高泊分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H 7. 9
	高千帆分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H 7. 9
	有帆分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H 7. 9
第 3 方面隊	小野田分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
	須恵分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
	赤崎分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1
	本山分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H10. 1

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指 令 車)

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	購 入 年 月
消 防 団 本 部	日 産	CBA-NC25	1,990	8	H18. 2
機 動 隊	ス バ ル	TA-SG5	1,990	5	H14.12

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	購 入 年 月
団 本 部	ト ヨ タ	CBA-ANM10G	2,000	7	H17. 2

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年月	
東 部 方面隊	東岐波分団	花 園	東岐波 2777-3	60.00	30.48	S60.12
		古 殿	東岐波 494-4	96.64	25.63	S55. 3
		丸 尾	東岐波 4138-13 の一部	32.96	11.93	S54. 3
		岐波浦	東岐波 1450-2	63.94	15.44	H 4.12
		前 田	東岐波 1777	15.98	15.98	S53. 7
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22. 3
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H 9. 3
		山 村	西岐波 2478	300.00	30.48	H 6. 3
片 倉		西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10. 1	
中 央 方面隊	上宇部分団	沼	沼二丁目 1669-3 の内	43.12	30.00	S48.12
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10. 3
	恩 田 分 団	八王子町 636-9	126.24	30.00	S48.12	
	東 分 団	松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32.11	
	西 分 団	島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24. 3	
西 部 方面隊	藤 山 分 団	文京町 2244-1	30.48	30.48	H 8. 3	
	厚 南 分 団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23. 3
		妻 崎	東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47. 2
		中 野	東須恵 276-4 の一部	218.60	33.84	H13. 3
		東 割	妻崎開作 1	111.09	22.21	S52.10
北 部 方面隊	厚 東 分 団	棚 井	棚井 43-3 の一部	56.61	26.14	H 8. 3
		駅 前	吉見 966-12	79.25	30.48	H 7. 4
		広 瀬	広瀬 560-1	11.46	11.46	S62.12
	二俣瀬分団	木 田	木田 560-3 の一部	22.21	22.21	S53. 2
		車 地	木田 173	30.48	30.48	H 2. 2
		上山中	山中 411-9	119.00	28.97	H15.12
		善 和	善和 108-2・5	135.80	15.44	H 9. 3
	小 野 分 団	下小野	小野 8265-22 の一部	71.70	30.48	S61. 6
		上小野	小野 3677	13.20	12.67	S54. 3
		市小野	小野 1305 第 1	30.00	22.90	S50.12
		楡小野	楡小野 534-2	38.50	21.00	S48.10
		岩 川	小野 6731 第 3	53.03	17.80	H14.11
		臼 木	小野 10139-2 の一部	11.46	11.46	S60. 3
大 山		小野 9129-2 の一部	15.44	15.44	H 4.12	

所属 / 機庫		場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月	
楠 方 面 隊	機 動 隊	船木 442-10	99.10	41.83	S58. 3	
	船 木 分 団	綿 屋 町	船木 184	161.98	16.20	H12. 3
		下 田 町 (1)	船木 690-5	147.16	18.25	H18. 2
		下 田 町 (2)	船木 635	23.00	9.04	S56. 2
		新 川	船木 3648-1	801.90	20.22	H26. 2
	万 倉 分 団	栄 町	西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60. 1
		沼 田 ケ 原	芦河内 11-6	213.00	25.20	H16. 12
		土 井	奥万倉 168-3	43.61	10.50	S55. 3
	吉 部 分 団	中 市	東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13. 11
		藤 ケ 瀬	西吉部 461	495.86	13.15	H 4. 2
		荒 滝	東吉部 1086	542.14	18.25	H14. 3

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月	
第1方面隊	厚 狭 北 分 団	厚 狭 北 分 団 庫	大字厚狭字上赤川 5112 番地 5(赤川)	287.18	67.50	H20. 3
		赤川防災倉庫	大字厚狭 5723 番地 1(沓山田)	188.70	12.20	H 1. 1
		森広防災倉庫	大字厚狭 2708 番地 3(森広)	—	12.60	—
	厚 狭 分 団	厚 狭 分 団 庫	大字鴨庄 81 番地 6(寝太郎二) 仮設山陽総合事務所車庫併設	—	—	—
		厚 狭 防 災 倉 庫	大字鴨庄 98 番地 1(千町 5)	—	78.00	S59.12
		鴨 庄 防 災 倉 庫	大字鴨庄 950 番地 5(鴨庄西) 山陽総合事務所敷地内	—	12.40	—
		下 津 防 災 倉 庫	大字郡 2013 番地 5(西下津)	324.45	22.30	H 3 . 1
	出 合 分 団	出 合 分 団 庫	大字山野井 2743 番地(栗田)	167.71	49.95	H 1 9 . 3
	埴 生 分 団	埴 生 分 団 庫	大字埴生 525 番地 1(東側) 埴生支所併設	—	34.10	—
		福 田 防 災 倉 庫	大字福田 777 番地 9(下福田)	55.10	24.00	S 6 1 . 3
大 持 防 災 倉 庫		大字埴生 3133 番地 5(大持)	94.53	17.50	H 3 . 1 2	
第2方面隊	津 布 田 分 団	津 布 田 分 団 庫	大字津布田 1061 番地(東郷)	436.75	31.05	H16.11
	厚 陽 分 団	厚 陽 分 団 庫	大字郡 3976 番地 17(渡場)	282.00	49.95	H 1 9 . 3
	高 泊 分 団	高 泊 分 団 庫	大字西高泊 1768 番地 1(郷)	164.82	49.95	S 6 1 . 3
	高 千 帆 分 団	高 千 帆 分 団 庫	日の出一丁目 1 番 1 号(新生町第 一)山陽小野田市役所併設	—	58.48	H 7 . 3
	有 帆 分 団	有 帆 分 団 庫	大字有帆 742 番地 1(杵築)	174.25	52.65	S 6 0 . 3
第3方面隊	小 野 田 分 団	小 野 田 分 団 庫	栄町 7 番 3 号(栄町)	95.52	48.19	H 2 . 3
		小 野 田 防 災 倉 庫	大字小野田 6114 番地 3(南中川)	170.56	52.00	S55.11
	須 恵 分 団	須 恵 分 団 庫	港町 7 番(港町)	267.40	61.84	H 1 2 . 2
	赤 崎 分 団	赤 崎 分 団 庫	赤崎一丁目 1 番 5 号(西の浜)	174.25	52.65	S 6 0 . 3
	本 山 分 団	本 山 分 団 庫	大字小野田 1967 番地(浜河内)	498.31	52.00	S57.12

消防団協力事業所表示制度
 ≪ 登録事業所一覧 ≫

【宇部市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口宇部農業協同組合	平成22年3月1日
2	ルネサスセミコンダクタ九州・山口株式会社 山口工場	平成22年3月1日
3	宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場	平成22年3月1日
4	宇部マテリアルズ株式会社	平成22年3月1日
5	チタン工業株式会社	平成22年3月1日
6	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成22年3月1日
7	船木鉄道株式会社	平成22年3月1日
8	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成22年3月1日
9	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成23年3月1日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	THK株式会社 山口工場	平成23年3月18日
2	厚和産業株式会社	平成23年3月18日
3	日鍛バルブ株式会社 山陽工場	平成23年3月18日
4	化薬アクゾ株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
6	日産化学工業株式会社 小野田工場	平成23年3月18日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成23年3月18日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成23年3月18日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成23年3月18日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月
1	山口宇部農業協同組合	平成23年2月
2	厚和産業株式会社	平成23年2月

消 防 年 報

(平成25年版)

発行日 平成 2 6 年 (2 0 1 4 年) 6 月

発行者 宇部・山陽小野田消防局
山口県宇部市港町二丁目3番30号

U R L <http://www.ube-sansho119.jp/>

E-M a i l kikaku@ube-sansho119.jp

編 集 宇部・山陽小野田消防局 企画財政課
TEL(0836)21-6119 FAX(0836)31-0119

印 刷 宇部・山陽小野田消防局 企画財政課